LABEL PRINTER

PM-36N

取扱説明書

- ●ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- ●この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
- ●本書の内容の一部または全部を無断で転載する事は禁じられています。
- ●本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

はじめに

このたびは、「Bepop mini PM-36N」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
Bepop mini PM-36N（以下「本機」）は、パソコンに接続して用いることにより、オリジナルラベルを簡単に作成できるラベル作成専用プリンタです。
本書は、お使いになるときの注意事項や、基本的な使い方を記載しています。お使いになる前に、必ず本書をお読みください。
なお、本書はお読みになったあとも、大切に保管してください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- **本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。**
- **本書の内容の一部または全部を無断で複写、転載することは禁じられています。**
- **本書の内容は万全を期して作成いたしましたが、万一不審な点や誤りなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。**
- **万一、本機や本機で作成したラベルを使用したこと、および故障・修理などによりデータが消えたり変化したことで生じた損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では、一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。**

もくじ

マニュアルの使い方

本機には以下の説明書が付属しています。用途に応じて使用してください。

マニュアル	取扱説明書（本書）	ソフトウェア内ヘルプ
本機の準備・操作、ソフトウェアのインストールについて	○	
P-touch Editor Ver. 4.0の使い方	○	○

安全にお使いいただくために

本書および本機で使用している表示や絵文字は、本機を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
その表示や意味は、次のとおりです。

	● この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
	● この表示を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。

 特定しない禁止事項

 分解してはいけません

 水に濡らしてはいけません

 火気を近づけてはいけません

 特定しない義務行為

 電源プラグを抜いてください

 アースをつないでください

 特定しない危険通告

 感電の危険があります

 火災の危険があります

 やけどの危険があります

本機を安全にお使いいただくために、以下のことがらを守ってください。

警告

■ ACアダプタ

- 本機専用のACアダプタ以外は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 付属のACアダプタは、100V-240Vの電圧以外では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ACアダプタのコードを傷つけたり、加工しないでください。また家具などの重いものを載せたり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタ、電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。

■ 異物が本機に入ったとき

- 万一、異物が本機の内部に入った場合は、本機の電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

■ やけどに注意

- プリントヘッドと周辺の金属部は動作中、動作直後は高温になりますので、直接手を触れないでください。やけどのおそれがあります。

■ 分解しないでください

- 本機を分解、または改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。内部の点検・調整・修理は、お買い上げの販売店またはサービスセンターにご依頼ください。

  分解・改造により故障した場合は、保証期間内でも有料修理となります。

■ 落としたり、強い衝撃を与えないでください

- 本機を落とす、踏むなどの強い衝撃を与えると破損することがあります。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。破損したときは、本機の電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。

■ 水に濡らさないでください

- コーヒーやジュースなどの飲み物や、花瓶の水などを本機にかけないでください。火災・感電・故障の原因となります。

  万一こぼしたときは、すぐに本機の電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。

■ 異常状態で使用しないでください

● 煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。異常があるときは、すぐに本機の電源スイッチを切り、AC アダプタをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。

■ 袋をかぶらないでください

● 本機が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、手の届かない所に保管するか、または廃棄してください。袋をかぶると、窒息のおそれがあります。

注意

■ ACアダプタ

● ACアダプタを火気や熱機器に近づけないでください。アダプタの被膜が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● ACアダプタを抜くときは、必ずアダプタを持って引いてください。コードを引っ張ると、コードが露出、断線して火災・感電の原因となることがあります。

● そうじなどのお手入れをするときは、本機のACアダプタをコンセントから抜いてください。感電のおそれがあります。

● 本機を長期間使用しないときは、安全のため必ずACアダプタを本機とコンセントから抜いて保管してください。

■ テープカッター

● テープカッターには直接手を触れないでください。ケガをするおそれがあります。

■ 上にものを置かないでください

● 本機の上に重いものを置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してケガをするおそれがあります。

■ 設置・保管場所について

● ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。倒れたり落下して、ケガをするおそれがあります。

使用上の注意

■ Bepop mini PM-36N

- 本機は精密機器です。落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- 本機上部のカバーを持って、持ち上げないでください。カバーが外れ、本機が落下して破損するおそれがあります。
- テレビやラジオなどの近くに置くと、誤動作する可能性があります。電磁妨害のもとになる機器の近くには設置しないでください。
- 本機に直射日光をあてないでください。
- ほこりの多い場所や、高温、多湿、凍結する場所では使用しないでください。故障や誤動作の原因となります。
- 本機をそうじするときに、シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機性溶剤を使用しないでください。塗装がはがれたり、傷の原因となります。本機の汚れは、柔らかい乾いた布で拭き取ってください。
- 本機の上に、ゴムやビニールを長期間置かないでください。しみになることがあります。
- 本機の上に、重いものや水の入ったものを置かないでください。万一、本体や内部に水がかかったり、内部に異物が入った場合は、当社サービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、故障やケガの原因となります。
- カッターには触らないでください。カッターを触るとケガをするおそれがあります。テープの交換でカバーを開けたときなどは、特に注意してください。
- テープ排出口やACアダプタジャック部、USBポート、シリアルポート部にものを入れたり、ふさいだりしないでください。
- プリントヘッド周辺の金属部には触らないでください。プリントヘッドと周辺の金属部は動作中、動作直後は高温になりますので、直接手を触れないでください。
- インターフェースケーブル（USBケーブル、シリアルケーブル）は付属のものを使用してください。
- 本機には、指定のレタリテープをご使用ください。それ以外のものは使用できません。

■ ACアダプタ

- 本機には、必ず付属の専用ACアダプタを使用してください。
- 長期間使用しない場合は、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

■ テープ（テープカセット）

- テープを引っ張らないでください。テープカセットが壊れる原因となります。
- テープを貼り付ける面が濡れていたり、ほこりや油で汚れている場合は、テープがはがれやすくなることがあります。あらかじめ掃除したあとに、テープを貼り付けてください。
- テープを貼り付けようとしている被着体の材質、表面状態、凹凸、曲面、環境条件などによって、テープの一部が浮いたり、はがれたりすることがあります。
- 特別な接着強度、安全性が必要な条件下で使用する場合は、あらかじめ目立たない場所で、確認、試験をしたあとで、使用してください。
- テープを屋外で使用する場合は、紫外線、風雨などの影響で、テープの色あせが生じたり、テープの端が浮いたりすることがあります。
- 油性あるいは水性ペンなどで書かれた上に直接テープを貼り付けると、インクが透けて見えることがあります。テープを2枚重ねて貼り付けるか、濃い色のテープを使用してください。
- 使い終わったテープカセットは使用しないでください。
- テープカセットは、直射日光、高温多湿、ほこりを避けて、冷暗所で保管してください。また開封後は、できるだけ早く使用してください。
- 上記の原因によって生じた損害等について、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ CD-ROM

- ● CD-ROMに傷を付けないように注意してください。
- ● CD-ROMを極端に高温、あるいは低温の場所に置かないでください。
- ● CD-ROMの上に重いものを載せたり、力を加えたりしないでください。

■ ソフトウェアの使用について

- ● CD-ROMに収録されているソフトウェアは、本機を使用する目的に限り、一事業所内で複数のパソコンにインストールして使用することができます。

1　お使いになる前に

ここでは、お使いになる前に確認していただきたいことを説明します。

付属品を確認しましょう

箱をあけたら、まず以下の付属品が揃っているか確認してください。不足しているときや破損しているときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

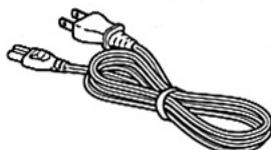
■ Bepop mini PM-36N

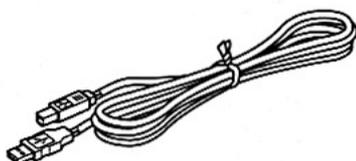
ラベルプリンタ本体です。

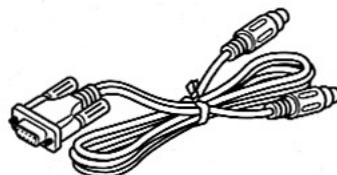
■ ACアダプタ

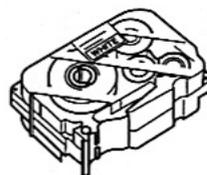
電源コードと接続します。

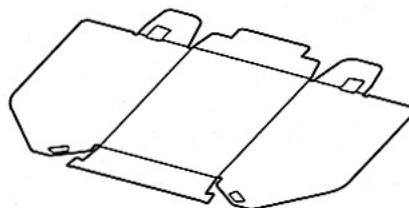
■ 電源コード

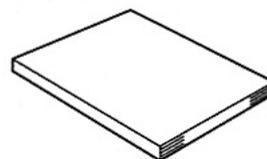
家庭用電源コンセント（AC100V）に接続します。

■ USBケーブル

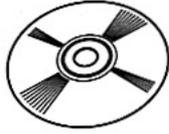
本機とパソコンのUSBポートを接続するケーブルです。

■ シリアルケーブル

本機とパソコンのシリアルポートを接続するケーブルです。

■ テープカセット

36mm幅のつや消し銀テープです。

■ キャッチトレイ

排出されたラベルの受け皿になります。

■ 取扱説明書

本書です。大切に保管してください。

■ CD-ROM

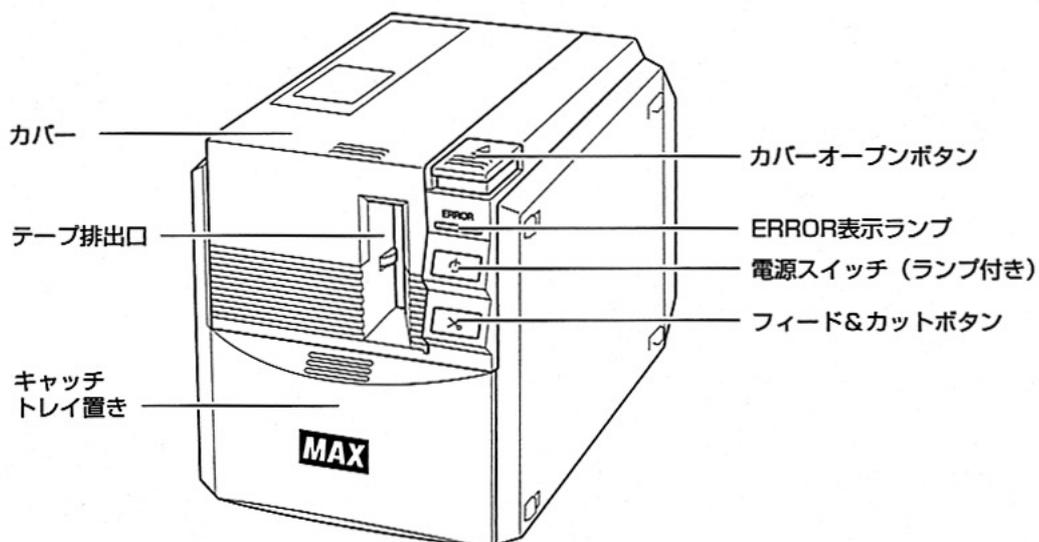
パソコンにインストールするプログラムなどが収録されています。

■ テープカタログ

Bepop mini シリーズ用テープカセットのカタログです。

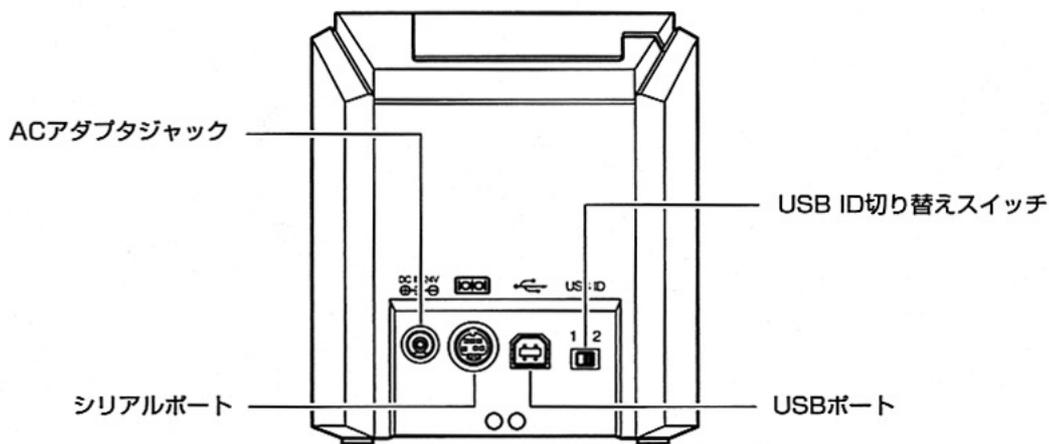
■ 保証書・お客様登録カード

各部の名称

本体各部の名称を説明します。

前面

お願い

- カバーを開けたままにしておくと、印字ヘッドにほこりがたまります。カバーは、いつも閉めておいてください。

背面

お願い

- USB ID 切り替えスイッチは、通常「2」にしておきます。詳細は、「USB の ID モードを切り替える」（→ P.60）を参照してください。

ランプ表示

本機の状態は、電源スイッチのランプ（緑）とERROR表示ランプ（赤）で確認できます。

ランプの状態		状態	対処
電源スイッチ（緑）	ERROR表示ランプ（赤）		
点灯	消灯	受信待機状態	−
点滅	消灯	受信データあり	−
点滅	点灯	受信中　テープなし	テープカセットをセットし、カバーを閉めてください。
		受信中　カバー開	カバーを閉めてください。
点灯	点灯	受信待機中　テープなし	テープカセットをセットし、カバーを閉めてください。
		受信待機中　カバー開	カバーを閉めてください。
点灯	点滅	印刷時　テープなし テープ間違い	正しいテープカセットをセットし、カバーを閉めてください。
		印刷時　カバー開	カバーを閉めてください。
		テープエンド	テープカセットをセットし、カバーを閉めてください。
		通信エラー	5秒後に受信待機状態に戻ります。
点灯	速い点滅	カッターエラー	本機内にテープが詰まっていないか確認し、電源をいったん切ってから入れ直してください。 それでも点滅が続くときは、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。
		ローラーホルダーエラー	
点灯	非常に速い点滅	EEPROMエラー ヘッドランクエラー	電源をいったん切ってから入れ直してください。 それでも点滅が続くときは、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。

ラベル作成までの準備

本機でラベルを作るには、以下の準備が必要です。

お知らせ

- 使用しているOSとシリアル接続かUSB接続かによって、接続の手順が異なります。手順の詳細は、「プログラムをインストールする」（→P.25）を参照してください。
- Bepop mini PM-24用のソフトウェアもインストールする場合は、必ずPM-24の基本セットアップのインストールをしてからPM-36Nの基本セットアップをインストールしてください。

プログラムをインストールする

パソコンで本機を使用するためのドライバと、ラベルをデザインするためのソフトウェアをインストールします。
「プログラムをインストールする」（→P.25）で説明します。

接続する

本機を電源とパソコンに接続します。
「接続しましょう」（→P.17）で説明します。

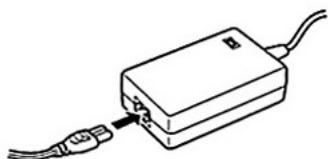
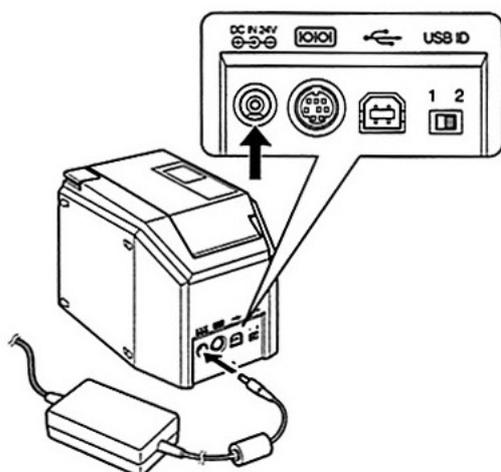
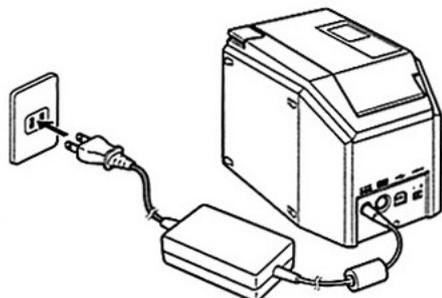
ラベル作成開始

準備ができたら、ラベル作りを始めます。
「ラベルの作り方」（→P.45）で説明します。

接続しましょう

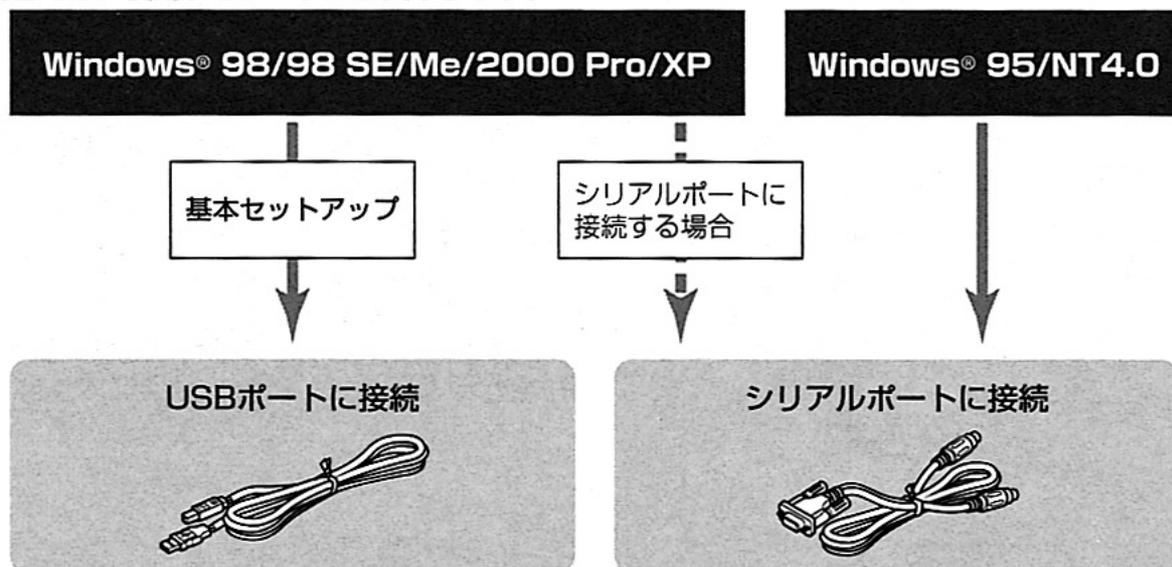
本機に電源とパソコンを接続します。

電源を接続する

❶ 付属のACアダプタと電源コードを接続します。

❷ 本機背面のACアダプタジャックに、ACアダプタのコネクタを差し込みます。

❸ ACアダプタのプラグを家庭用電源コンセント（AC100V）に差し込みます。

お願い

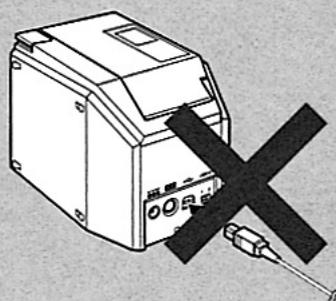
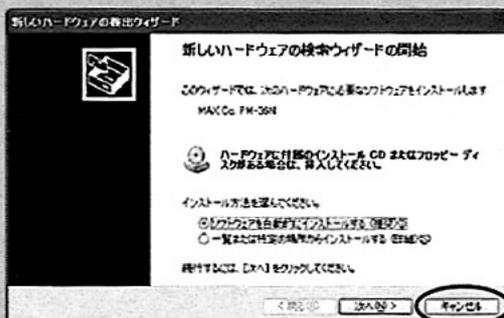
- 使い終わったら、ACアダプタを本体およびコンセントから抜いて保管してください。
- ACアダプタを抜くときは、コード部分を強く引っ張らないでください。断線することがあります。
- 付属のACアダプタ以外は使用しないでください。故障の原因になります。

パソコンと接続する

本機とパソコンを、付属のケーブルで接続します。USBポートに接続する場合と、シリアルポートに接続する場合では、使用するケーブルが異なります。

お願い

- Windows® 95/NT 4.0の場合、USBポートに接続することはできません。必ずシリアルポートに接続してください。
- 本機にシリアルケーブルとUSBケーブルを同時に接続して使用しないでください。本機の故障の原因になります。
- 本機は、Windows®のみに対応しています。Macintoshなどの他のOSでは使用できません。

お願い

- ソフトウェアをインストールするまでは、パソコンにUSBケーブルを接続しないでください。

もしUSBケーブルを先に接続していた場合に次の画面が表示されたときは、[キャンセル]ボタンをクリックし、USBケーブルを抜いてください。

■ USBポートに接続する場合

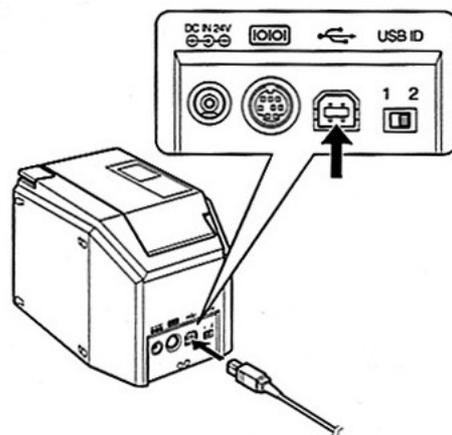
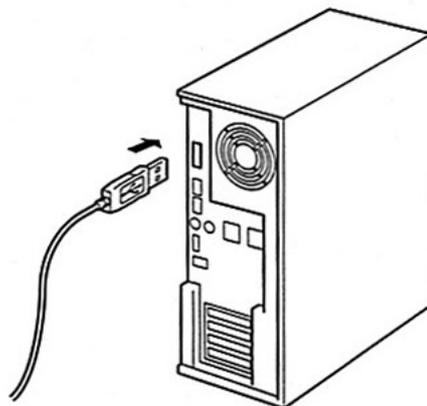
Windows® 98/98 SE/Me/2000 Pro/XPで「基本セットアップ」(→P.28)を行う場合は、以下の手順でUSBポートに接続します。

お願い

- プログラムのインストール中に、本機とパソコンをUSBケーブルで接続します。指示があるまでは、本機とパソコンを接続しないでください。
- USBハブを介して接続する場合、USBハブの機種によっては、正しく接続できないことがあります。このようなときは、パソコンと本機を直接USBケーブルで接続してください。

1 付属のUSBケーブルを用意します。

本機のUSBポートに差し込みます　　パソコンのUSBポートに差し込みます

2 本機背面のUSBポートにUSBケーブルを差し込みます。

3 パソコンのUSBポートにUSBケーブルを差し込みます。

- パソコンによって、USBポートの位置は異なります。詳細は、パソコンの取扱説明書を参照してください。

お知らせ

- 本機を使用するには、パソコンにプログラムをインストールする必要があります。「プログラムをインストールする」(→P.25)に進みます。

■ シリアルポートに接続する場合

Windows® 95/NT 4.0は、必ずシリアルポートに接続します。
また、Windows® 98/98 SE/Me/2000 Pro/XPでシリアルポートに接続する場合は、「プリンタドライバだけインストールするとき ーシリアルポートに接続する場合ー」(→P.35) の手順でプリンタドライバをインストールします。

お願い

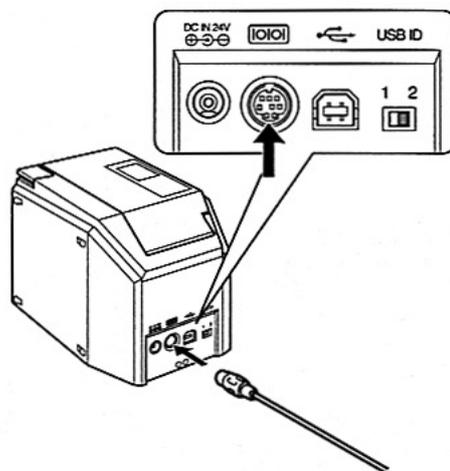
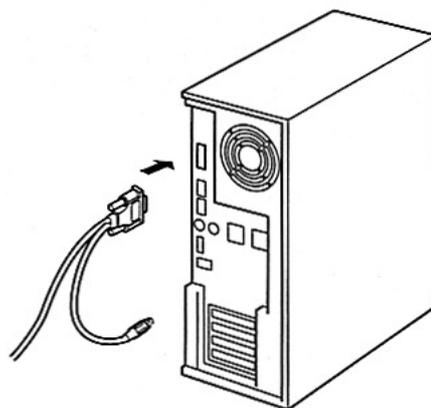
- 本機にUSBケーブルが接続されているとシリアルポートで通信ができません。必ず本機からUSBケーブルを抜いてください。
- 本機とパソコンをシリアル接続する場合は、プログラムをインストールする前に接続を行います。
- 一部のパソコンは、シリアルコネクタ (RS-232C) の形状が特殊なため、付属のケーブルでは接続できないことがあります。この場合は、市販の変換アダプタを使用してください。

1 付属のシリアルケーブルを用意します。

本機のシリアルポートに差し込みます　　パソコンのシリアルポートに差し込みます。

2 本機とパソコンの電源がOFFになっていることを確認します。

電源が入っている場合は、OFFにします。

3 本機背面のシリアルポートにシリアルケーブルを差し込みます。

4 パソコンのシリアルポートにシリアルケーブルを差し込みます。

- パソコンによって、シリアルポートの位置や形状が異なります。詳細は、パソコンの取扱説明書を参照してください。

5 本機の電源スイッチを押します。

→ 電源スイッチが緑色に点灯します。

❻ パソコンの電源を ON にします。

お知らせ

- 本機を使用するには、パソコンにプログラムをインストールする必要があります。「プログラムをインストールする」（→ P.25）に進みます。

ラベルをセットしましょう

本機で使用できるラベルの種類と、テープカセットをセットする手順を説明します。

使用できるテープの種類

本機で使用できるラベル用テープの種類は、以下のとおりです。

■ レタリテープ

6/9/12/18/24/36mm幅の以下のテープが使用できます。
最高 20mm/ 秒の速度で印字できます。

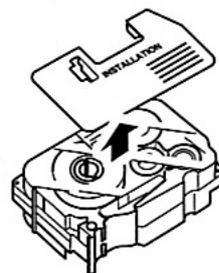
- □ ラミネートテープ
- □ 強粘着ラミネートテープ（白、銀）
- □ 巻つけタイプテープ
  ケーブル用のマーキングに適しています。
- □ 感熱紙テープ

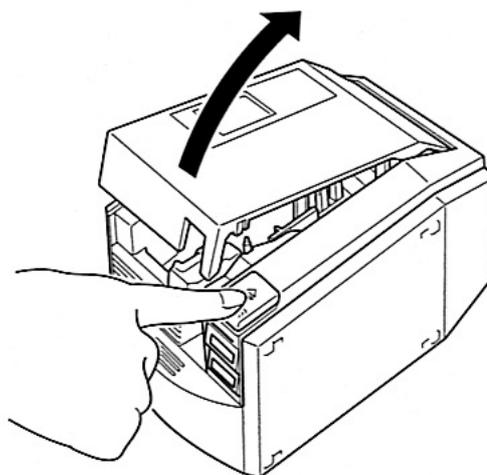
お知らせ

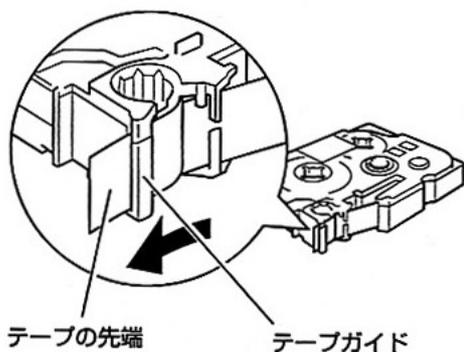
- **テープの詳細は、付属のテープカタログなどを参照してください。**

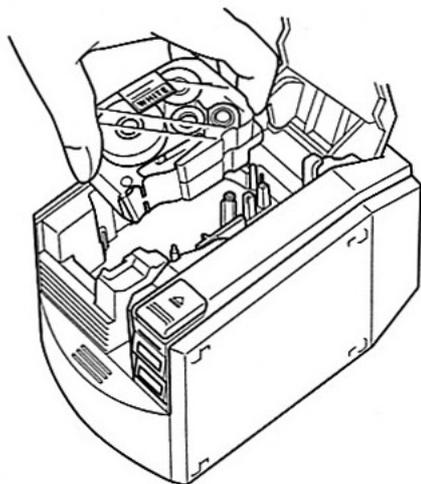
テープカセットをセットする

テープカセットをセットする手順を説明します。

1 テープカセットのストッパーを取り外します。

- ストッパーが付いていないテープカセットもあります。

2 カバーオープンボタンを押し、カバーを開きます。

❸ テープカセットを確認します。

テープの先端が曲がっていないか、テープがテープガイドを通っているかを確認します。

❹ テープカセットをセットします。

テープカセットの方向を間違えないように気を付けてください。

❺ オープンカバーを閉めます。

❻ 電源スイッチを押します。

→ 電源スイッチが緑色に点灯します。

- カバーがしっかりと閉まっていなかったり、テープカセットが正しくセットされていないときは、ERROR表示ランプが点灯します。❷から、やり直してください。

❼ フィード&カットボタンを押します。

→ テープカセットのテープのたるみが取れます。

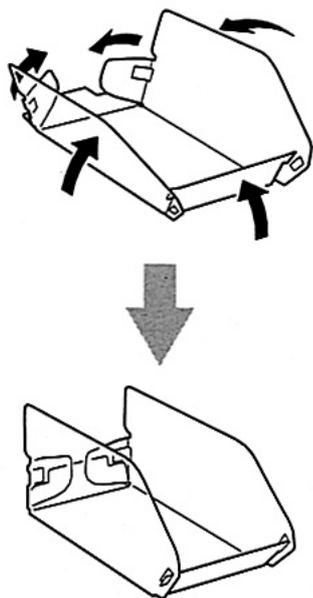
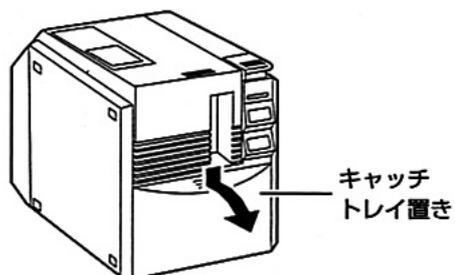
お願い

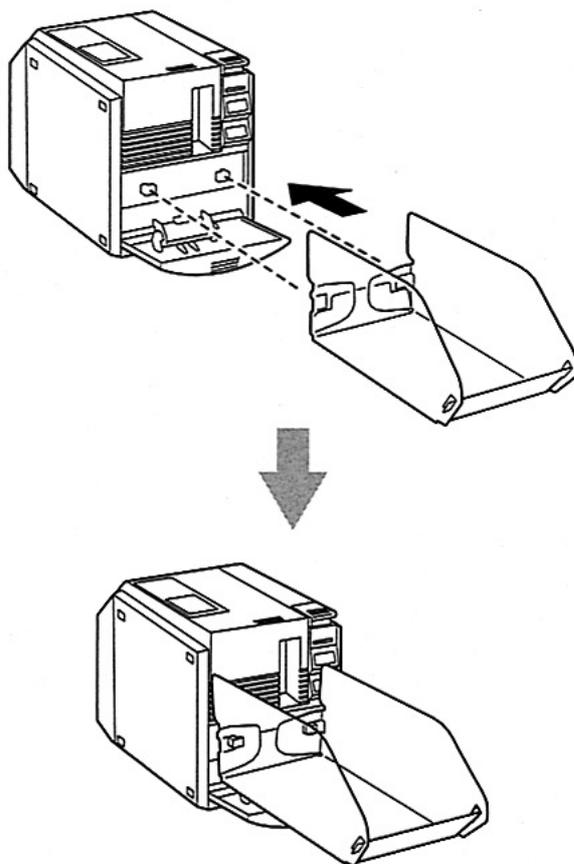
- 印字終了後 10 分間操作しないと、ローラーホルダーが自動的にリリースされるため、音がする場合があります。また、この機能によって、電源がONのままACアダプタを抜くと、テープカセットが取り出せなくなることがあります。必ず電源をOFFにしてからACアダプタを抜いてください。

キャッチトレイをセットしましょう

キャッチトレイを取り付けます。キャッチトレイは、本機から排出されたラベルの受け皿になります。たくさんのラベルを連続して印刷するときなどに使用してください。

❶ キャッチトレイを組み立てます。

下図を参考にして、組み立ててください。

❷ キャッチトレイ置きを開きます。

❸ キャッチトレイを本機に取り付けます。

下図を参考にして、取り付けてください。

2 プログラムをインストールする

ここでは、本機を使用するのに必要なプログラムをインストールする手順を説明します。

使用するプログラムの種類

本機を使用するには、以下のプログラムをパソコンにインストールする必要があります。

プログラム / OS	P-touch Editor	プリンタドライバ
	いろいろなデザインのラベルを作成するソフトウェアです。	本機をプリンタとして使用するためのプログラムです。
Microsoft® Windows® 98 Microsoft® Windows® 98 SE Microsoft® Windows® Me Microsoft® Windows® 2000 Pro Microsoft® Windows® XP	○	USB接続 シリアル接続*1
Microsoft® Windows® 95 Microsoft® Windows NT® 4.0	○*2	シリアル接続*3

*1　「基本セットアップ」を選択すると、USB接続になります。**シリアル接続の場合は、「高度なセットアップ」を選択してください。**

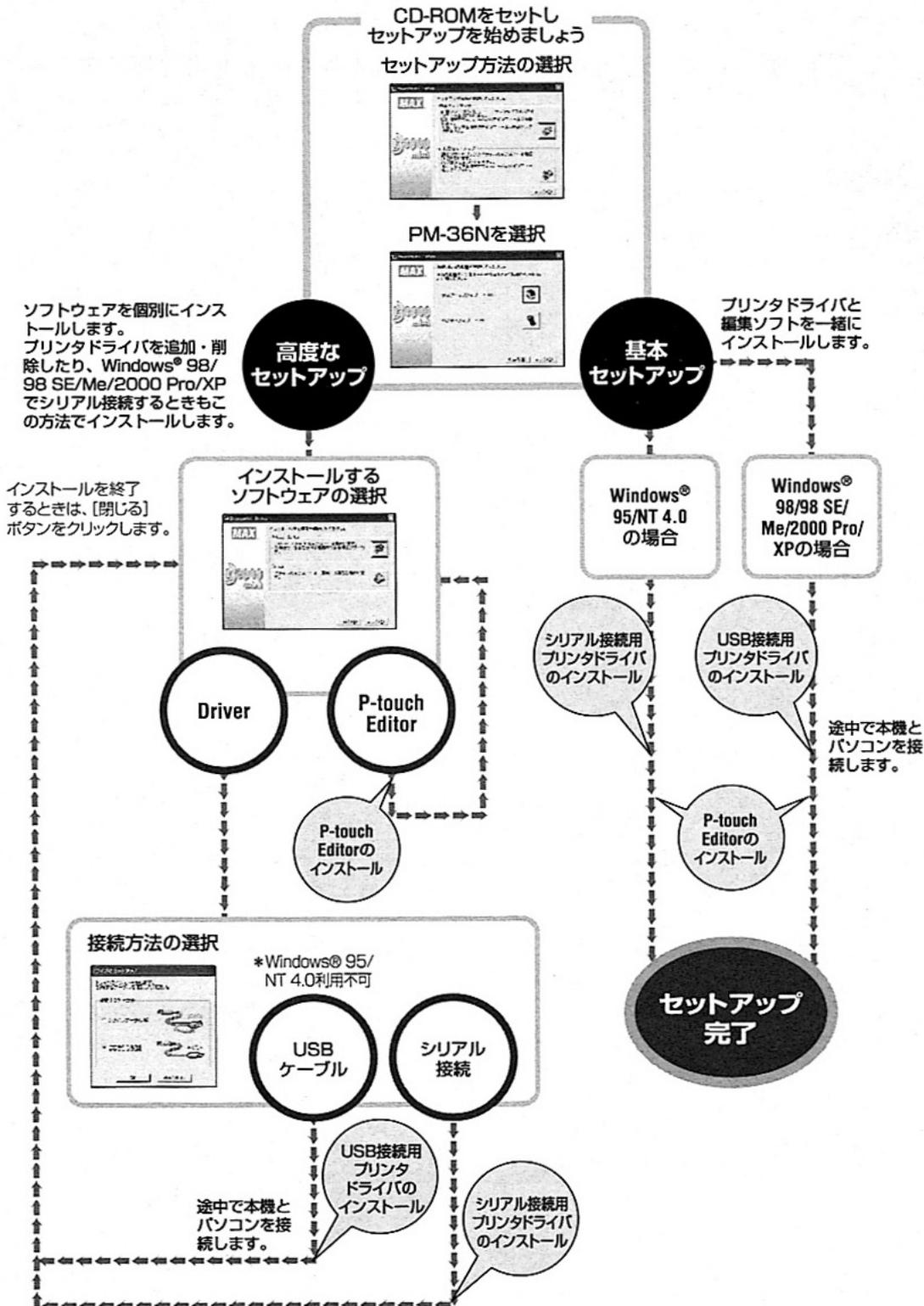
*2　**Windows NT® 4.0の場合に、Internet Explorer 5.5以上がインストールされていないと、P-touch Editorの「クリップアート」が利用できません。**

*3　USB接続はできません。

プログラムをインストールしましょう

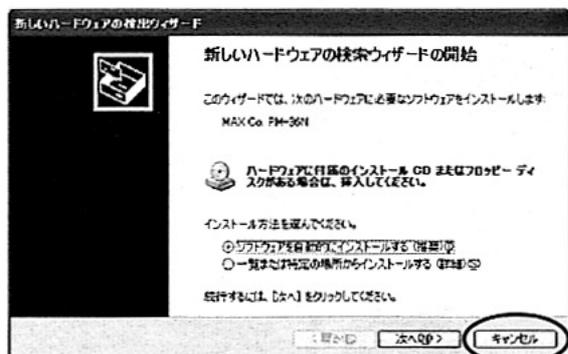
Windows® 95/98/98 SE/Me/NT 4.0/2000 Pro/XP のいずれかを搭載しているパソコンにプログラムをインストールする手順を説明します。

お知らせ

- Bepop mini PM-24 用のソフトウェアもインストールする場合は、必ず PM-24 の基本セットアップのインストールをしてから PM-36N の基本セットアップをインストールしてください。

インストールするときの注意

パソコンにプログラムをインストールするときは、使用する環境に応じて、以下の点に注意してください。

■ USBポートに接続する場合

ソフトウェアをインストールするまでは、パソコンにUSBケーブルを接続しないでください。
もしUSBケーブルを先に接続していた場合に次の画面が表示されたときは、[キャンセル] ボタンをクリックし、USBケーブルを抜いてください。

■ シリアルポートに接続する場合

プログラムをインストールする前に、本機とパソコンを接続しておきます。
接続の手順は、「パソコンと接続する」(→P.20) を参照してください。

■ Windows® NT 4.0/2000 Proで使用する場合

インストールするときは、「Administrator」権限を持つユーザ名でログインしてください。

■ Windows® XPで使用する場合

インストールするときは、「コンピュータの管理者」権限を持つユーザ名でログインしてください。

■ PM-24用のソフトウェアをインストールする場合

必ずPM-24用の基本セットアップを先にインストールしてください。

基本セットアップでインストールする

本機をプリンタとして使用するために必要な「プリンタドライバ」と、ラベルをデザインする「P-touch Editor」をインストールします。
プリンタドライバをインストールしたあと、続けてP-touch Editorをインストールします。

お願い

- OSによっては、インストール中に再起動が必要な場合があります。再起動したときは、同じユーザ名でログインし、インストールを続けてください。

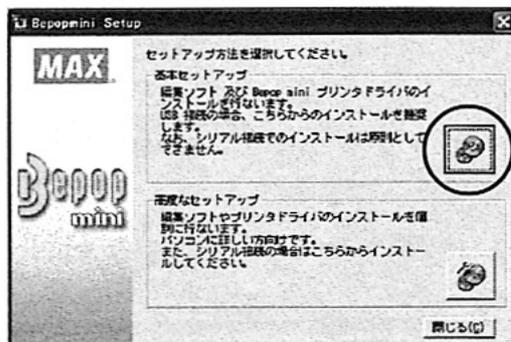
お知らせ

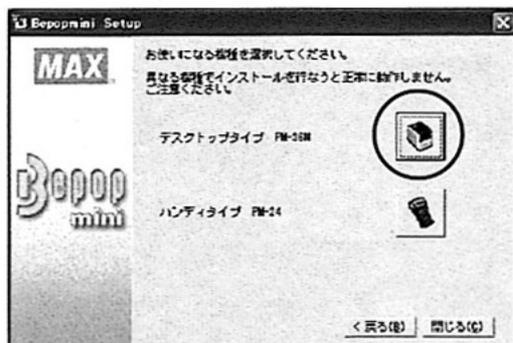
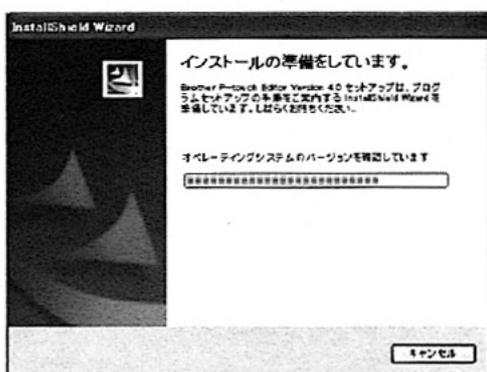
- プリンタドライバだけをインストールする場合は、「プリンタドライバだけインストールするとき」(→P.34) を参照してください。
- ここではWindows® XPの画面を例に説明します。その他のOSの場合も基本的な操作は同様です。

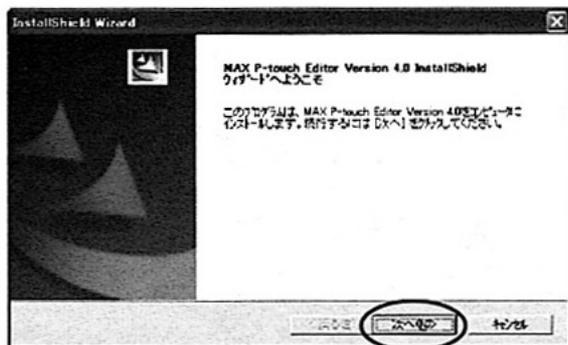
1 パソコンを起動し、付属のCD-ROMをセットします。

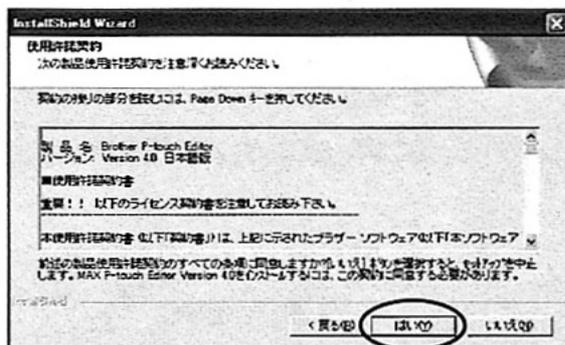
→ [Bepop mini Setup] 画面が表示されます。

- [Bepop mini Setup] 画面が表示されるまで、少し時間がかかります。
- [Bepop mini Setup] 画面が表示されないときは、[マイコンピュータ] の [Bepop mini] アイコンをダブルクリックします。

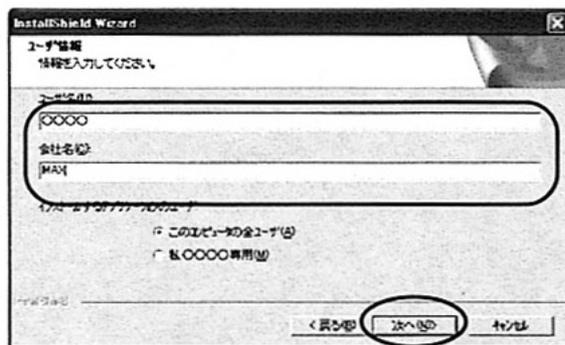
2 基本セットアップのボタンをクリックします。

→ 機種を選択する画面が表示されます。

3 PM-36Nのボタンをクリックします。

→ インストールの準備が始まります。

→ 準備が終わると、[MAX P-touch Editor Version 4.0 InstallShieldウィザードへようこそ］画面が表示されます。

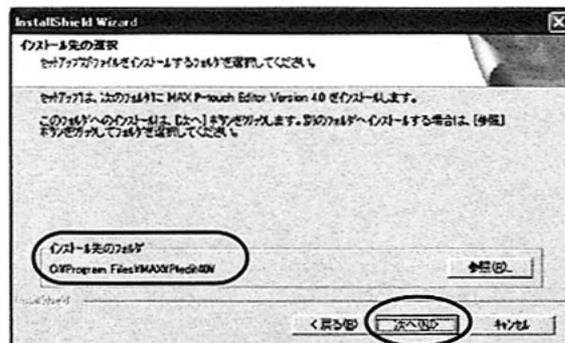
4 内容を確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

→［使用許諾契約］画面が表示されます。

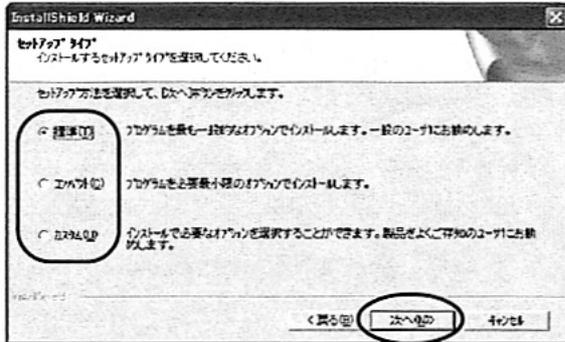
5 内容を確認し、[はい]ボタンをクリックします。

→［ユーザ情報］画面が表示されます。

6 「ユーザ名」と「会社名」を入力し、[次へ］ボタンをクリックします。

インストールしたときのログイン名とパスワードでパソコンを起動したときだけ、このソフトウェアを使用できるようにする場合は、「私（○○○○）専用」を選択します。

→［インストール先の選択］画面が表示されます。

7 インストールするフォルダを確認し、[次へ］ボタンをクリックします。

変更するときは、[参照]ボタンをクリックします。

→ [セットアップタイプ] 画面が表示されます。

❽ セットアップ方法を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

以下の項目がインストールされます。

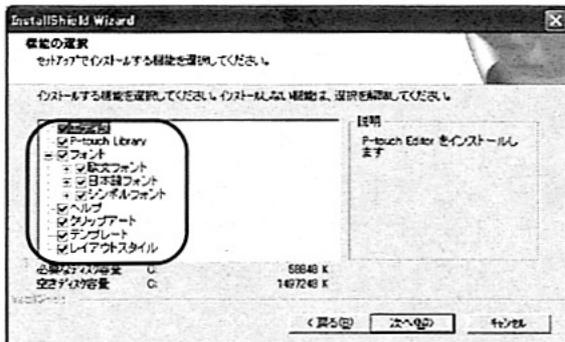
□ **標準**

P-touch Editor、P-touch Library、欧文フォント、シンボルフォント、ヘルプ、クリップアート、テンプレート、レイアウトスタイルがインストールされます。

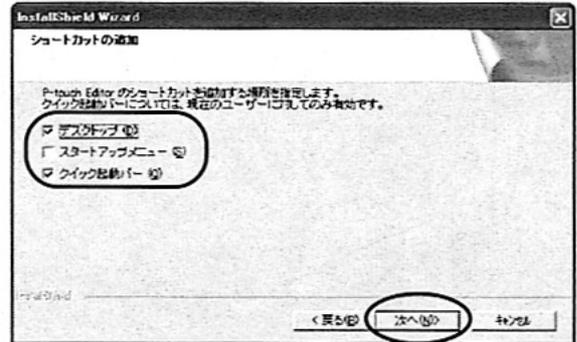
□ **コンパクト**

P-touch Editorとクリップアートのみインストールされます。

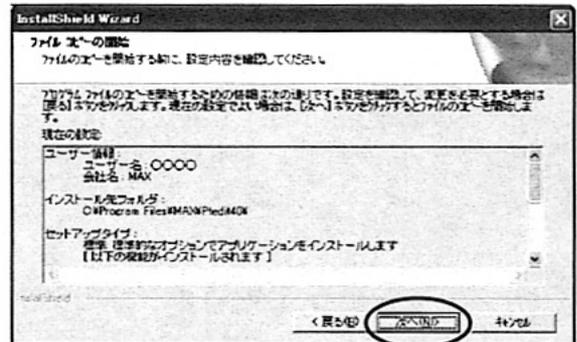
□ **カスタム**

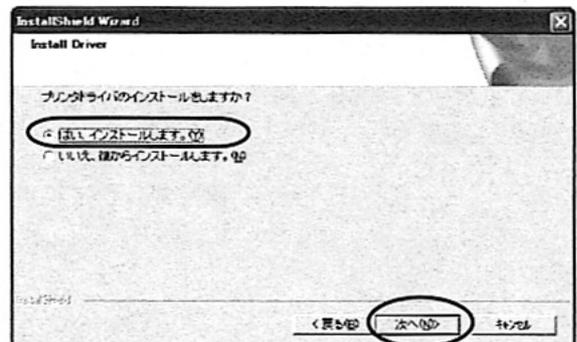
[次へ] ボタンをクリックし、[機能の選択] 画面でインストールする項目を選択します。

→ [ショートカットの追加] 画面が表示されます。

❾ ショートカットを作成する場所を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

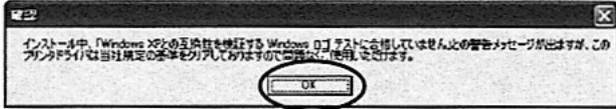
ショートカットを作成しない場合は、すべてのチェックを外します。

→ [ファイルコピーの開始] 画面が表示されます。

❿ 設定内容を確認し、[次へ] ボタンをクリックします。

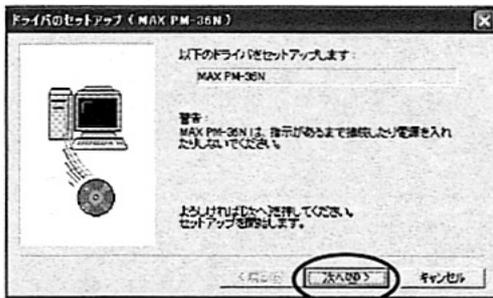
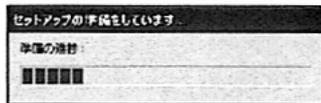
設定し直すときは、[戻る] ボタンをクリックします。

→ [Install Driver] 画面が表示されます。

⓫ 「はい、インストールします。」を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

Windows® 95/NT 4.0の場合は、このあと「プリンタドライバだけインストールするとき－シリアルポートに接続する場合－」の ⑥ （→P.36）に進みます。

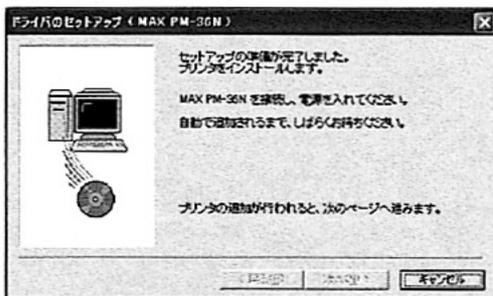
→ ［確認］画面が表示されます。

⑫ 内容を確認し、［OK］ボタンをクリックします。

●OS によっては、この画面は表示されません。

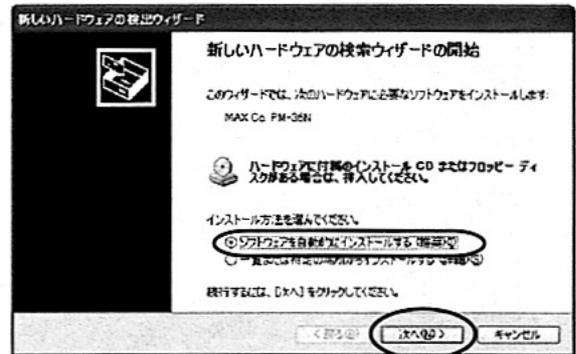
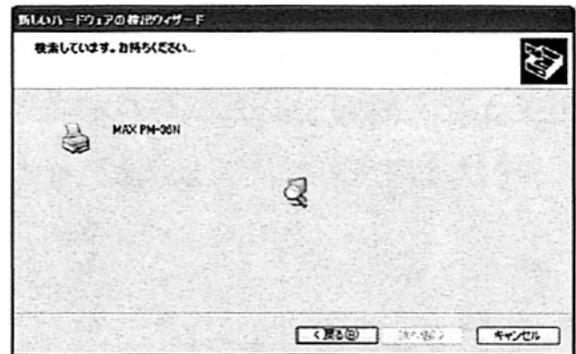
→ ［ドライバのセットアップ(MAX PM-36N)］画面が表示されます。

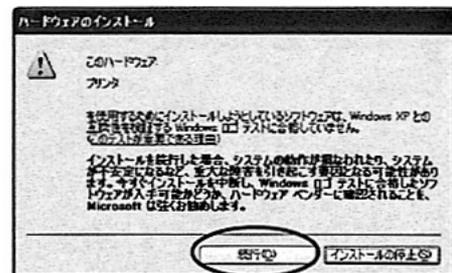
⑬ ［次へ］ボタンをクリックします。

→ セットアップの準備が始まります。

→ 準備が終わると、本機を接続するように指示されます。

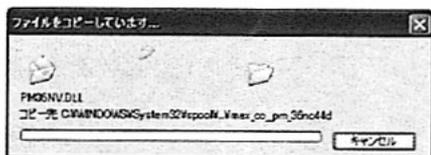
⑭ 本機とパソコンを USB ケーブルで接続し、本機の電源を入れます。

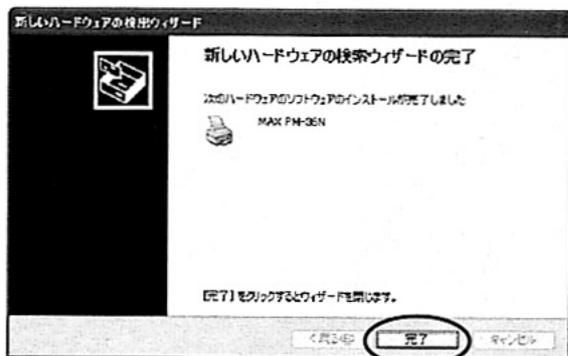
接続の手順は、「パソコンと接続する」（→P.19）を参照してください。

Windows® 98/98 SE/Me/2000 Proの場合は、⑱ （→P.32）に進みます。

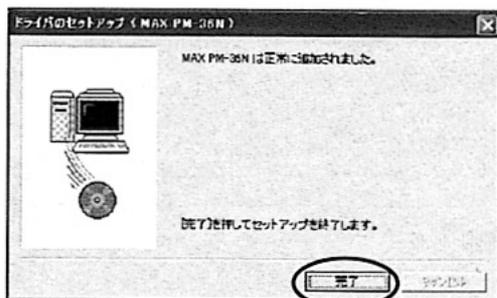
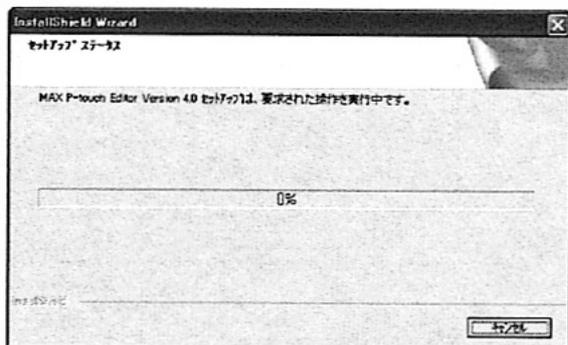
→ パソコンに本機が接続されていることが認識されると、［新しいハードウェアの検出ウィザード］画面が表示されます。

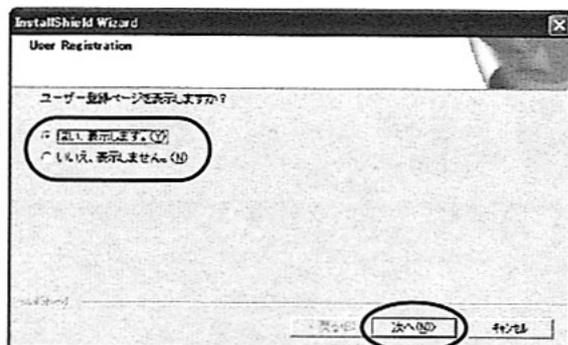
⑮ 「ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）」を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

→ 必要なプログラムが検索されます。

→ ［ハードウェアのインストール］画面が表示されます。

⑯ ［続行］ボタンをクリックします。

●本プログラムはWindows® XPで問題なく使用できます。

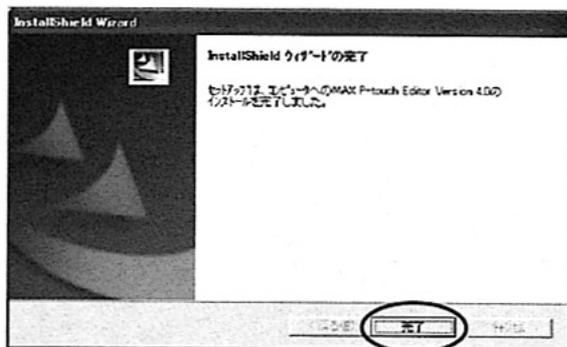
→ ドライバのインストールが始まります。

→ インストールが終了すると、「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されます。

⑰ [完了] ボタンをクリックします。

→ [ドライバのセットアップ(MAX PM-36N)] 画面に戻ります。

⑱ [完了] ボタンをクリックします。

→ [セットアップステータス] 画面が表示され、P-touch Editorのインストールが始まります。

→ P-touch Editorのインストールが終わると、ユーザー登録ページについての画面が表示されます。

⑲ ユーザー登録ページを表示するかどうかを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

- インターネットに接続している場合のみ [はい、表示します。] を選択します。
- [はい、表示します。] を選択し、[次へ] ボタンをクリックした場合は、パソコンのブラウザが起動し、Bepop-net.comのトップ画面が表示されます。
  トップ画面からユーザー登録をして、ブラウザを閉じてください。

→ [InstallShieldウィザードの完了] 画面が表示されます。

⑳ [完了] ボタンをクリックします。

→ インストールが終了します。

ラベルを作成するときは、「ラベルの作り方」(→P.45) に進みます。

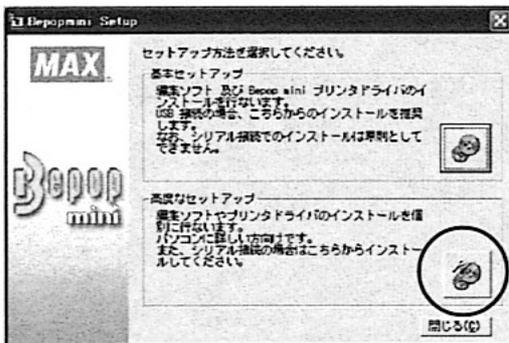
P-touch Editor だけ インストールするとき

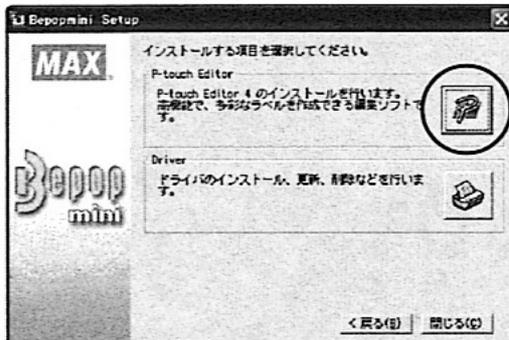
ラベルをデザインする「P-touch Editor 4.0」のみをインストールする手順を説明します。

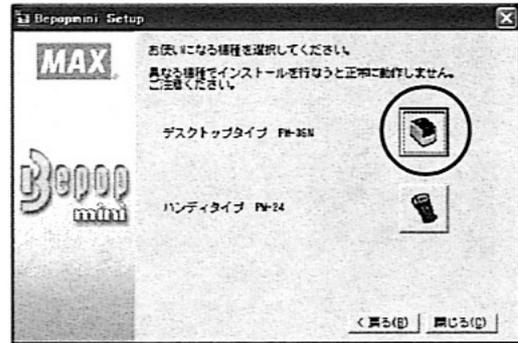
❶ パソコンを起動し、付属の CD-ROM をセットします。

→ [Bepop mini Setup] 画面が表示されます。

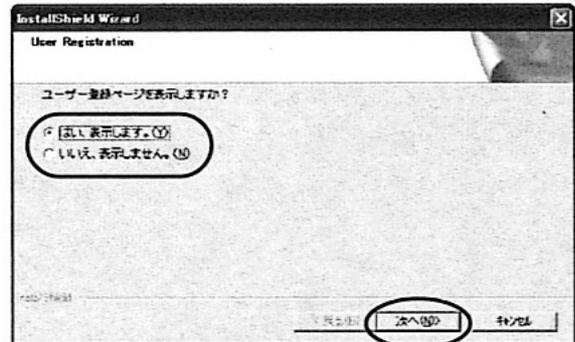
- [Bepop mini Setup] 画面が表示されるまで、少し時間がかかります。
- [Bepop mini Setup] 画面が表示されないときは、[マイコンピュータ] の [Bepop mini] アイコンをダブルクリックします。

❷ 高度なセットアップのボタンをクリックします。

→ インストールするソフトウェアを選択する画面が表示されます。

❸ P-touch Editor のボタンをクリックします。

→ 機種を選択する画面が表示されます。

❹ PM-36N のボタンをクリックします。

❺ 画面に表示される内容に従って、インストールを実行します。

「基本セットアップでインストールする」の❹～❿ (→P.29) を参照してください。

→ [InstallShield ウィザードの完了] 画面が表示されます。

❻ ユーザー登録ページを表示するかどうかを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

- インターネットに接続している場合のみ [はい、表示します。] を選択します。
- [はい、表示します。] を選択し、[次へ] ボタンをクリックした場合は、パソコンのブラウザが起動し、Bepop-net.com のトップ画面が表示されます。
トップ画面からユーザー登録をして、ブラウザを閉じてください。

→ [InstallShield ウィザードの完了] 画面が表示されます。

❼ ［完了］ボタンをクリックします。

→ P-touch Editorがインストールされ、❸の画面に戻ります。

続けてプリンタドライバをインストールするときは、「プリンタドライバだけインストールするとき」の③（→P.34）に進みます。

プリンタドライバだけインストールするとき

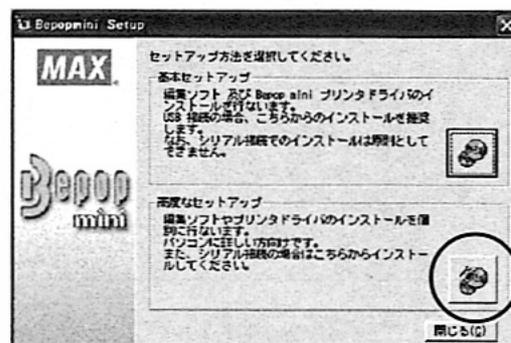
プリンタドライバのみをインストールするときの手順を説明します。

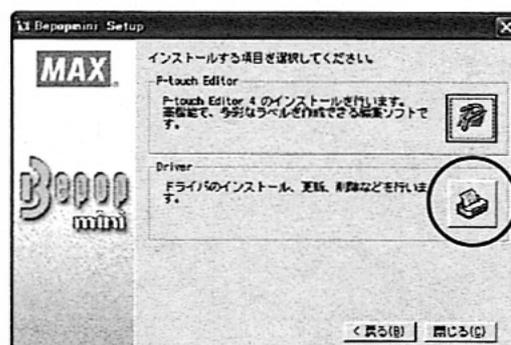
■ USBポートに接続する場合

① パソコンを起動し、付属のCD-ROMをセットします。

→ ［Bepop mini Setup］画面が表示されます。

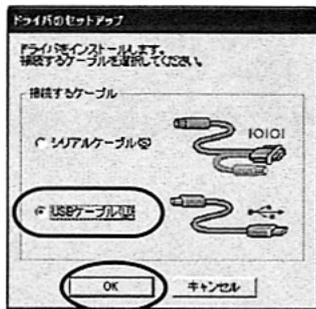
- ［Bepop mini Setup］画面が表示されるまで、少し時間がかかります。
- ［Bepop mini Setup］画面が表示されないときは、［マイコンピュータ］の［Bepop mini］アイコンをダブルクリックします。

② 高度なセットアップのボタンをクリックします。

→ インストールするソフトウェアを選択する画面が表示されます。

③ Driverのボタンをクリックします。

→ 機種を選択する画面が表示されます。

④ PM-36N のボタンをクリックします。

→ ［ドライバのセットアップ］画面が表示されます。

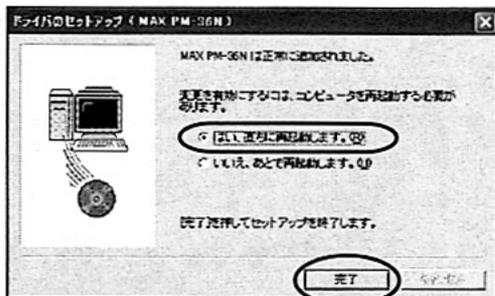
⑤ 「USB ケーブル」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

→ ［確認］画面が表示されます。

⑥ 画面に表示される内容に従って、インストールを実行します。

「基本セットアップでインストールする」の⑫～⑰（→P.31）を参照してください。

→ ［ドライバのセットアップ(MAX PM-36N)］画面が表示されます。

⑦ CD-ROM を取り出します。

⑧ 「はい、直ちに再起動します。」を選択し、［完了］ボタンをクリックします。

→ プリンタドライバのインストールが完了し、パソコンが再起動します。

■ シリアルポートに接続する場合

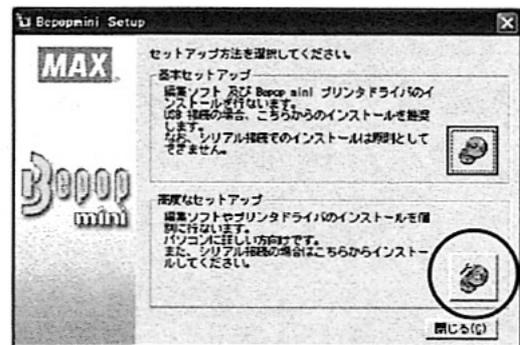
お願い

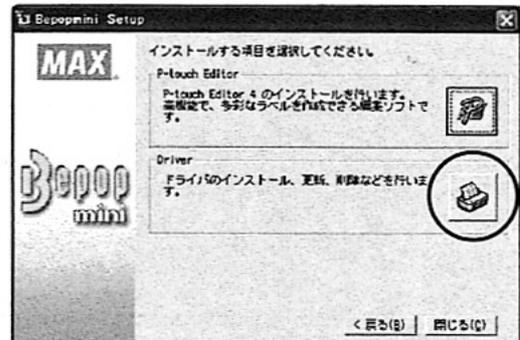
● Windows® 98/98 SE/Me/2000 Pro/XP でシリアルポートに接続する場合は、ここで説明する手順でプリンタドライバをインストールしてください。

① パソコンを起動し、付属の CD-ROM をセットします。

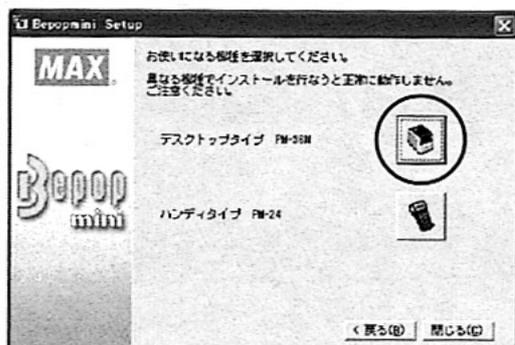
→ ［Bepop mini Setup］画面が表示されます。

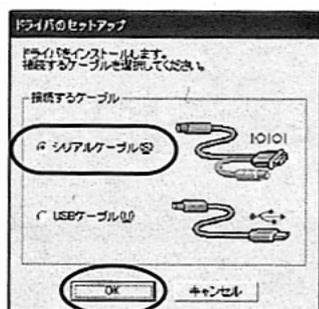
● ［Bepop mini Setup］画面が表示されるまで、少し時間がかかります。

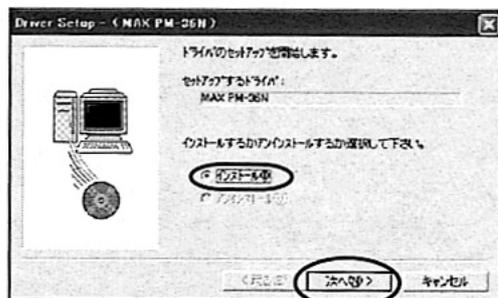
● ［Bepop mini Setup］画面が表示されないときは、［マイコンピュータ］の［Bepop mini］アイコンをダブルクリックします。

② 高度なセットアップのボタンをクリックします。

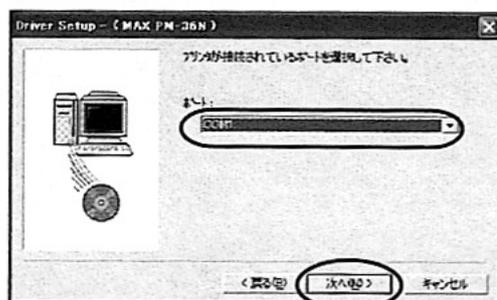
→ インストールするソフトウェアを選択する画面が表示されます。

③ Driver のボタンをクリックします。

→ 機種を選択する画面が表示されます。

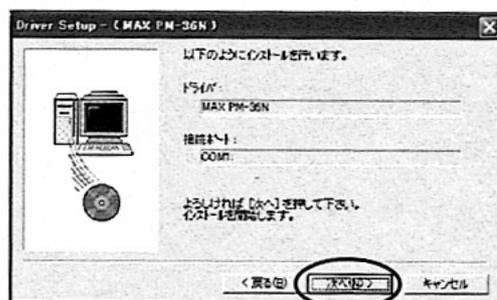
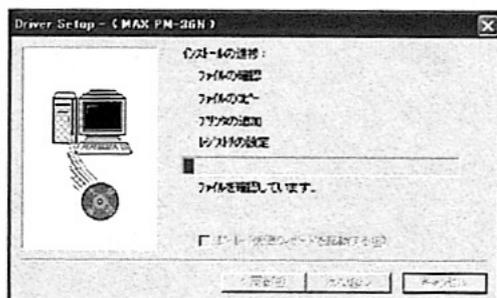
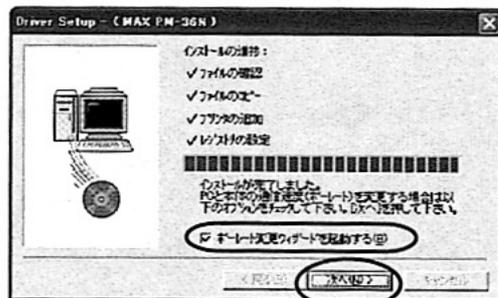
④ PM-36Nのボタンをクリックします。

→ ［ドライバのセットアップ］画面が表示されます。

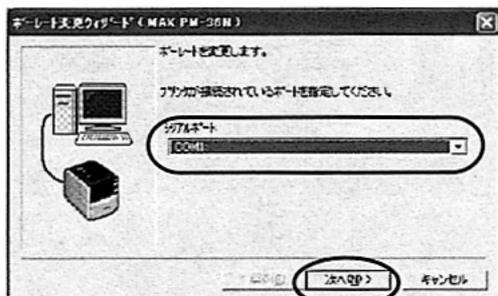
⑤ 「シリアル接続」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

→ ［Driver Steup-(MAX PM-36N)］画面が表示されます。

⑥ 「インストール」を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

→ プリンタポートを選択する画面が表示されます。

⑦ 本機を接続しているポートを選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

→ インストール内容を確認する画面が表示されます。

⑧ 内容を確認し、［次へ］ボタンをクリックします。

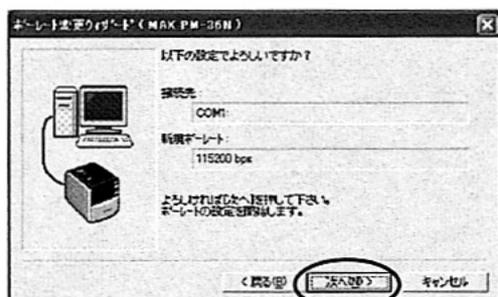
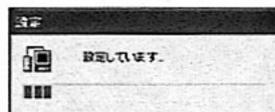
設定し直すときは、［戻る］ボタンをクリックします。

→ インストールが始まります。

⑨ 「ボーレート変更ウィザードを起動する」にチェックが入っていることを確認し、［次へ］ボタンをクリックします。

→ ［ボーレート変更ウィザード（MAX PM-36N）］画面が表示されます。

⑩ **本機が接続されているポートを選択し、［次へ］ボタンをクリックします。**

→ ボーレートを設定する画面が表示されます。

⑪ **使用するボーレートを選択し、［次へ］ボタンをクリックします。**

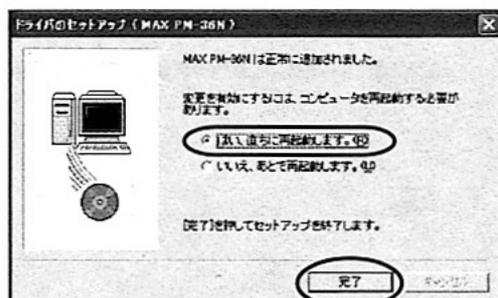
シリアルポートの通信速度が115,200bpsに対応しているパソコンの場合は、「115200bps」を選択します。115,200bpsに対応していないパソコンの場合は、対応しているボーレートを選択します。

→ 設定内容を確認する画面が表示されます。

⑫ **［次へ］ボタンをクリックします。**

→ ボーレートが設定されます。

● ボーレートが設定できたときは、シリアルポートで通信ができています。

→ インストールが完了したことを示す画面が表示されます。

⑬ **CD-ROMを取り出します。**

⑭ **「はい、直ちに再起動します。」を選択し、［完了］ボタンをクリックします。**

→ プリンタドライバのインストールが完了し、パソコンが再起動します。

お願い

- 本機にUSBケーブルが接続されていると、シリアルポートで通信ができません。必ず本機からUSBケーブルを抜いてください。
- シリアルポートの通信速度が115,200bpsに対応していないパソコンの場合は、本機の通信速度を9,600bpsに変更します。「通信速度を変更する」（→P.61）を参照してください。

パソコンとBepop miniの通信速度を設定する

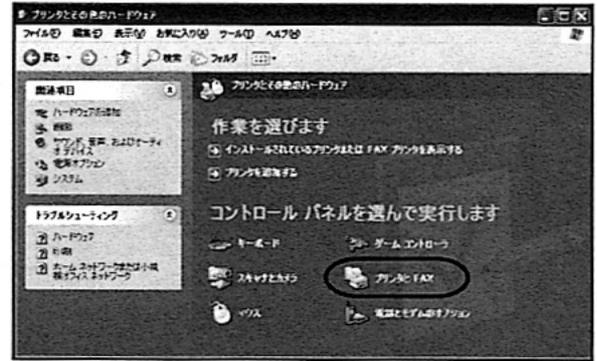
パソコンと本機の通信速度を変更したり、通信が正しく行われていることを確認する場合は、以下の手順で操作します。

❶ [スタート]メニュー－[コントロールパネル]を選択します。

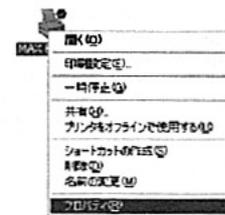
→ [コントロールパネル] ウィンドウが表示されます。

□ Windows® 95/98/98SE/Me/NT 4.0/2000 Proの場合
[スタート] メニュー－[コントロールパネル] －[プリンタ] を選択し、❹に進みます。

❷ [プリンタとその他のハードウェア] を選択します。

→ [プリンタとその他のハードウェア] ウィンドウが表示されます。

❸ [プリンタとFAX] を選択します。

→ [プリンタとFAX] ウィンドウが表示されます。

❹ [MAX PM-36N] アイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択します。

→ [MAX PM-36Nのプロパティ] 画面が表示されます。

5 [デバイスの設定] タブをクリックします。

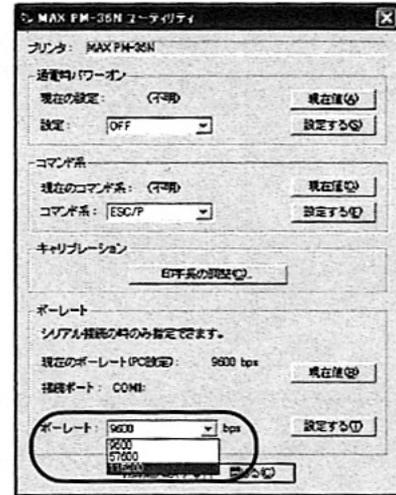
Windows® 95/98/98 SE/Meの場合は、[高度] タブをクリックします。

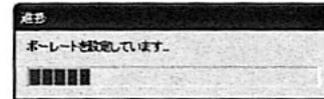
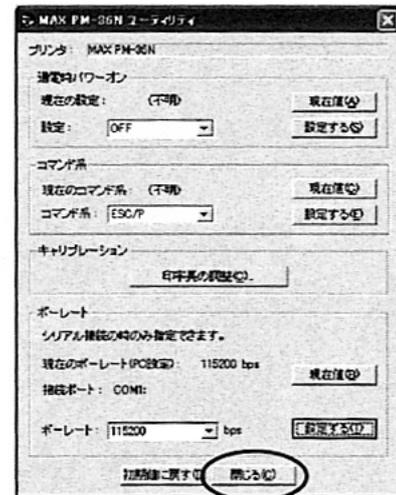
→ デバイスを設定する画面が表示されます。

6 [ユーティリティ] の部分をクリックすると表示される [プロパティ] ボタンをクリックします。

Windows® 95/98/98 SE/Meの場合は、[ユーティリティ] ボタンをクリックします。

→ [MAX PM-36N ユーティリティ] 画面が表示されます。

7 使用するボーレートを選択します。

8 [設定する] ボタンをクリックします。

→ ボーレートが変更されます。

9 [閉じる] ボタンをクリックします。

→ [MAX PM-36N のプロパティ] 画面に戻ります。

⑩ ［OK］ボタンをクリックします。

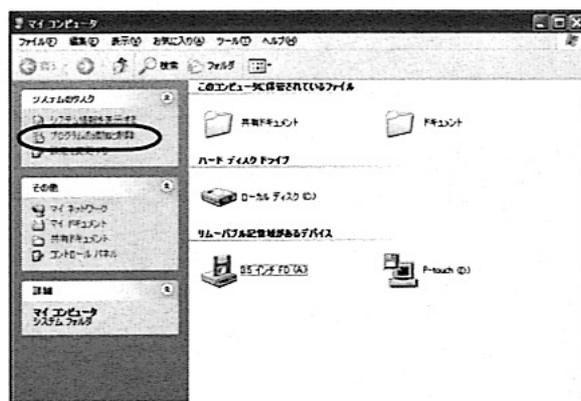
→ 設定が終了し、［MAX PM-36Nのプロパティ］画面が閉じます。

お願い

● シリアルポートの通信速度が115,200bpsに対応していないパソコンの場合は、本機の通信速度を9,600bpsに変更します。「通信速度を変更する」（→P.61）を参照してください。

ソフトウェアを削除するとき

本機を使用しなくなったときなどは、以下の手順でソフトウェアを削除します。

❶ ［マイコンピュータ］の［プログラムの追加と削除］を選択します。

→ ［プログラムの追加と削除］ウィンドウが表示されます。

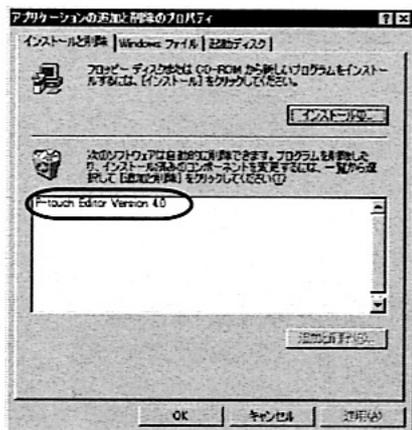
□ Windows® 95/98/98SE/Me/NT 4.0/2000 Proの場合

［スタート］メニュー－［設定］－［コントロールパネル］を選択し、［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

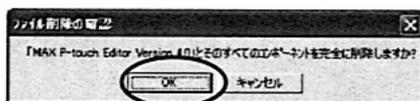
アプリケーションの追加と削除

❷ 「MAX P-touch Editor Version 4.0」を選択します。

□ Windows® 95/98/98SE/Me/NT 4.0 の場合

［アプリケーションの追加と削除のプロパティ］画面で、「MAX P-touch Editor Version 4.0」を選択します。

❸ ［変更と削除］ボタンをクリックします。

→［ファイル削除の確認］画面が表示されます。

❹ ［OK］ボタンをクリックします。

→ ソフトウェアが削除されます。

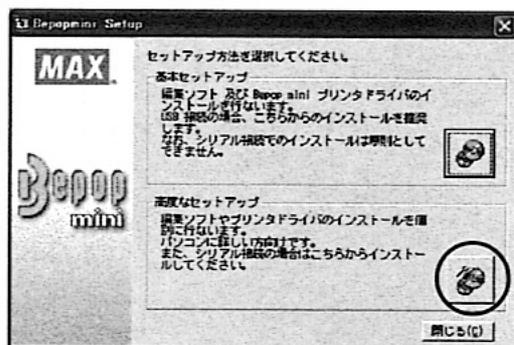
プリンタを使用しなくなったとき

本機のプリンタドライバを削除します。プリンタを削除するときは、［コントロールパネル］ー［プリンタ］（Windows® XP の場合は［プリンタとFAX］）で「MAX PM-36N」を選択し、削除します。
プリンタドライバを完全に削除する場合は、以下の手順で削除を行います。

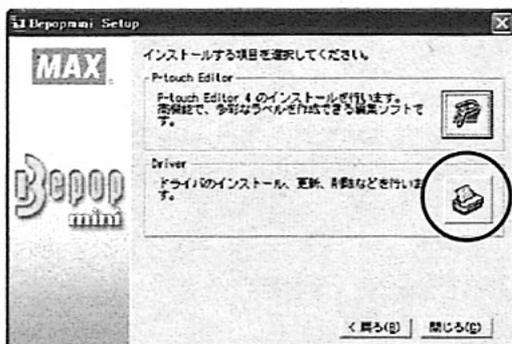
❶ 本機の電源をOFFにし、パソコンに接続したケーブルを抜きます。

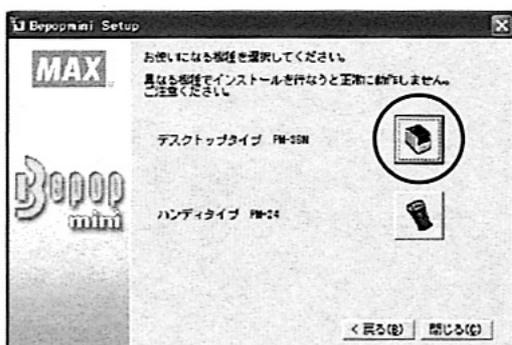
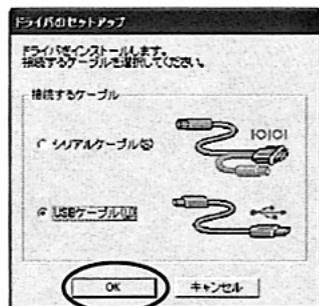
❷ 付属の CD-ROM をセットします。

→［Bepop mini Setup］画面が表示されます。

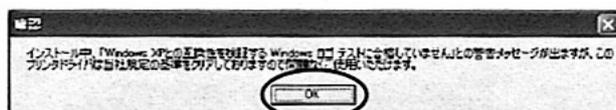
● ［Bepop mini Setup］画面が表示されるまで、少し時間がかかります。
● ［Bepop mini Setup］画面が表示されないときは、［マイコンピュータ］の［Bepop mini］アイコンをダブルクリックします。

❸ 高度なセットアップのボタンをクリックします。

→ インストールするソフトウェアを選択する画面が表示されます。

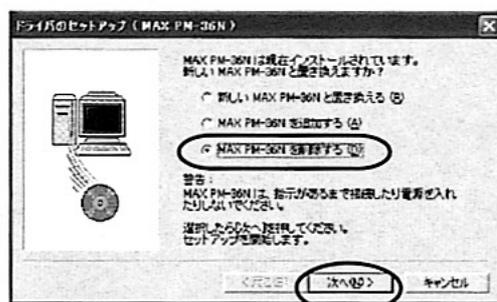
❹ Driverのボタンをクリックします。

→ 機種を選択する画面が表示されます。

❺ PM-36Nのボタンをクリックします。

→ ［ドライバのセットアップ］画面が表示されます。

❻ ［OK］ボタンをクリックします。

→ ［確認］画面が表示されます。

❼ 内容を確認し、［OK］ボタンをクリックします。

● OSによっては、この画面は表示されません。

→ ［ドライバのセットアップ(MAX PM-36N)］画面が表示されます。

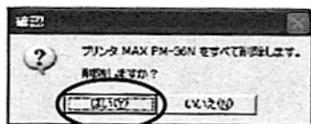
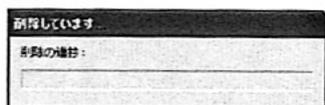
❽ 「MAX PM-36Nを削除する」を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

→ 削除の確認画面が表示されます。

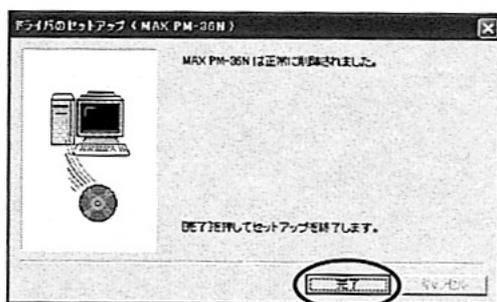
□ **「新しいMAX PM-36Nと置き換える」を選択した場合**

現在のプリンタドライバを削除し、新しいプリンタドライバをインストールします。新しいバージョンのプリンタドライバや、Windows® 2000 Pro/XPでシリアルナンバーが異なる本機に変更するときに使用します。

□ **「MAX PM-36Nを追加する」を選択した場合**

新しいプリンタドライバを追加します。複数の本機を1台のパソコンで使用するときに使用します。Windows® 98/98 SE/Meの場合、プリンタドライバは追加されずに、新しいポートが追加されます。

9 ［はい］ボタンをクリックします。

→ 削除が開始されます。

→ 削除が完了したことを示す画面が表示されます。

10 ［完了］ボタンをクリックします。

→ プリンタドライバの削除が完了します。

3 ラベルの作り方

ここでは、ラベルをデザインして印刷するまでの手順を説明します。

P-touch Editorでラベルを作りましょう

P-touch Editorを使うと、いろいろなデザインのラベルが作成できます。

お知らせ

- ここでは、P-touch Editorの概要を説明します。詳しい使い方は、ヘルプに掲載されています。詳細は「ヘルプの使い方」（→P.53）を参照してください。
- ここでは、主にWindows® XPの画面と操作を例に説明します。

P-touch Editorを起動する

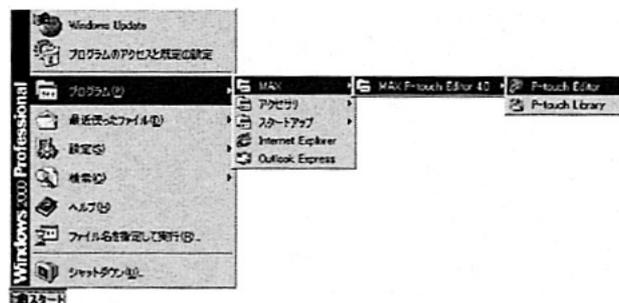
P-touch Editorを起動します。

■ Windows® XPの場合

［スタート］メニュー－［すべてのプログラム］－［MAX］－［MAX P-touch Editor 4.0］－［P-touch Editor］を選択します。

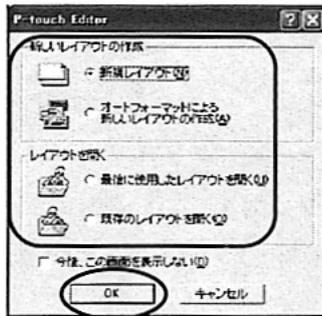
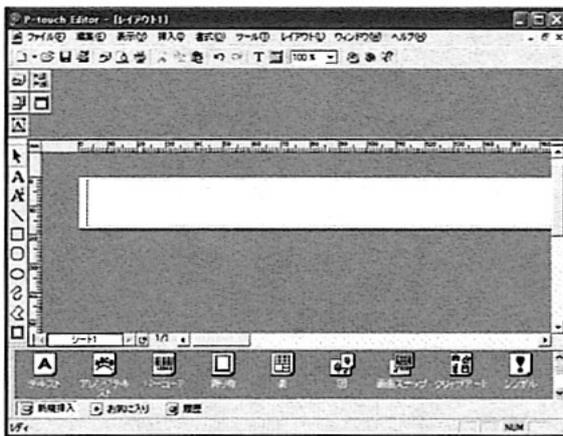
→ 起動すると、レイアウトの方法を選択する画面が表示されます。

■ Windows® 95/98/98 SE/Me/NT 4.0/2000 Proの場合

［スタート］メニュー－［プログラム］－［MAX］－［MAX P-touch Editor 4.0］－［P-touch Editor］を選択します。

→ 起動すると、レイアウトの方法を選択する画面が表示されます。

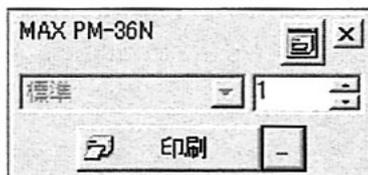
レイアウト画面

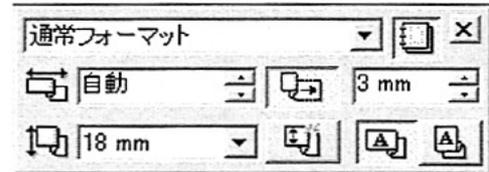
P-touch Editor を起動すると、レイアウトの方法を選択する画面が表示されます。

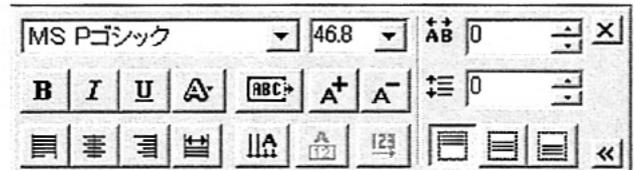
❶ レイアウトを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

→レイアウト画面が表示されます。

■ プロパティドック

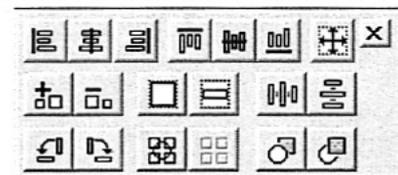
ボタンをクリックすると、フォントやレイアウトなどを設定するプロパティが表示されます。もう一度ボタンをクリックすると、プロパティは閉じます。

□ 印刷プロパティ

ラベルの印刷の仕方を設定します。

□ ページプロパティ

ラベルのサイズと向きを設定します。

□ テキストプロパティ

使用フォントや文字揃え、行間隔などを設定します。

□ レイアウトプロパティ

文字列や図形の配列を設定します。

■ 描画ツールバー

文字や図形を描きます。

■ オブジェクトドック

イラストや似顔絵を呼び出すアイコンが並んでいます。

□ テキスト

文字列を入力します。

テキスト

□ アレンジテキスト

文字列を変形します。

アレンジテキスト

□ バーコード

バーコードを設定します。

バーコード

□ 飾り枠

飾り枠を付けます。

飾り枠

□ 表

表を作成します。

表

□ 図

保存されているイラストや写真などを呼び出します。

図

●bmp/dib/jpg/jpeg/tif/ico/wmf/emf/png のいずれかの形式のファイルを呼び出すことができます。

□ 画面スナップ

デスクトップ画面の一部をキャプチャします。

画面スナップ

□ クリップアート

いろいろなイラストを呼び出します。

クリップアート

□ シンボル

いろいろなマークを呼び出します。

シンボル

□ ピクチャーメイキング

絵を組み合わせてイラストを作ります。

ピクチャーメイキング

□ モンタージュ

髪型や目などを選んで似顔絵を作ります。

モンタージュ

□ 日付と時刻

現在の日付や時刻を文字列として表示します。

日付と時刻

□ カレンダー

カレンダーを文字列として表示します。

カレンダー

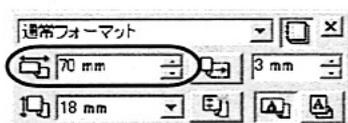
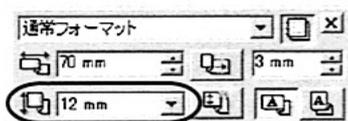
名前ラベルを作成する

ここでは、名前のラベルを作成する例を説明します。

❶ P-touch Editorを起動します。

❷ をクリックします。

→［ページプロパティ］が表示されます。

❸ ラベルの長さを「70mm」に設定します。

❹ ラベルの幅を「12mm」に設定します。

❺ オブジェクトドックの テキスト をクリックします。

❻ レイアウト画面でクリックし、名前を入力します。

山田 太郎

❼［テキストプロパティ］の をクリックします。

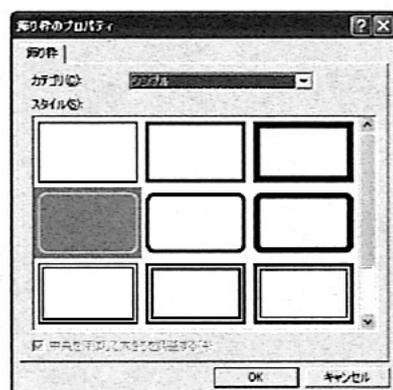
→ 文字列が中央揃えになります。

山田 太郎

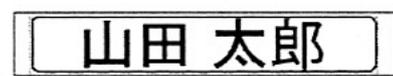
❽ オブジェクトドッグの 飾り枠 をクリックします。

→［飾り枠のプロパティ］画面が表示されます。

❾「カテゴリ」と「スタイル」を選択します。

ここでは、「カテゴリ」で「シンプル」、「スタイル」で角の丸い長方形（細線）を選択します。

❿［OK］ボタンをクリックします。

→ 以下のようにレイアウトされます。

山田 太郎

⓫［印刷プロパティ］が表示されていないときは、 をクリックします。

→［印刷プロパティ］が表示されます。

⓬［印刷プロパティ］の 印刷 をクリックします。

→ ラベルが印刷されます。

印刷を実行する

作成したラベルを印刷します。

■ 印刷する

① ［アイコン］をクリックします。

→ ［印刷プロパティ］が表示されます。

② ［印刷プロパティ］の［印刷］をクリックします。

→ ラベルが印刷されます。

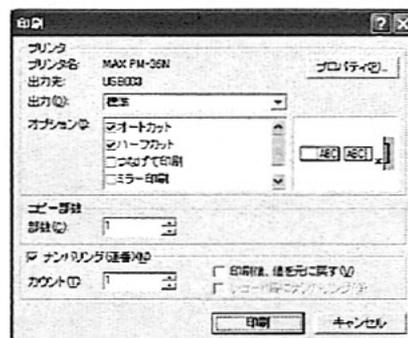
■ 印刷条件を設定して印刷する

① ［アイコン］をクリックします。

→ ［印刷プロパティ］が表示されます。

② ［印刷プロパティ］の［...］をクリックします。

→ ［印刷］画面が表示されます。

③ 印刷条件を設定します。

□ オプション

オートカット：印刷したラベルを切って排出します。

ハーフカット：印刷したラベルに切れ目を入れて裏紙がはがれやすくします。

つなげて印刷：印刷したラベルを排出せずに次の印刷が実行されるまで待機します。ラベルの間に余分な余白が入りません。ラベルを排出するときは、フィード&カットボタンを押します。

ミラー印刷：データを反転して印刷します。ガラスの内側に貼るときなどに利用します。透明テープを使用してください。

プリンタドライバに直接出力：プリンタドライバへの出力時間が短縮されます。複雑なデザインのラベルを印刷するときは、正しく印刷されないことがあります。

□ ナンバリング（連番）

ラベルにナンバリング（連番）を設定するときに、数字の増分を設定します。

④ ［印刷］ボタン をクリックします。

→ ラベルが印刷されます。

データベースを利用する

Excelなどで作成したデータベースを利用してラベルを作成することができます。
ここでは、Microsoft® Excelで作成した以下のファイルを使用したときの手順を説明します。

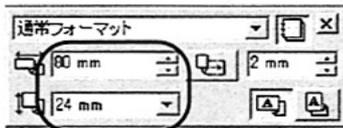
部品名	型名	部品コード
USBケーブル	CB-001	111111-001
ACアダプタ	AC-123	222222-001

1. Excelでデータを作成し、保存します。

2. P-touch Editorを起動します。

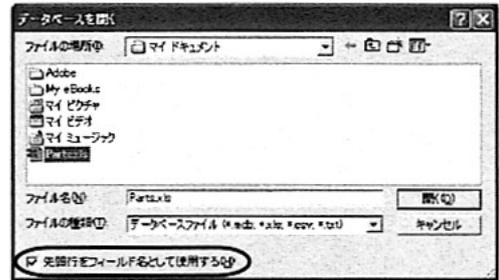
3. をクリックします。

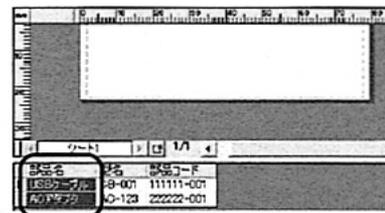
→ [ページプロパティ] が表示されます。

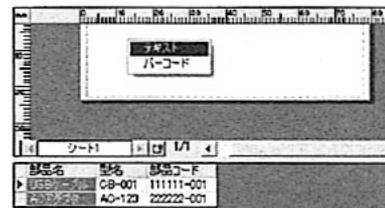
4. ラベルの長さを「80mm」、幅を「24mm」に設定します。

5. メニューバーの [ファイル] − [データベース] − [接続] を選択します。

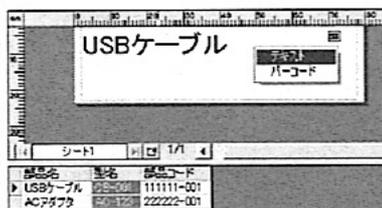
→ [データベースを開く] 画面が表示されます。

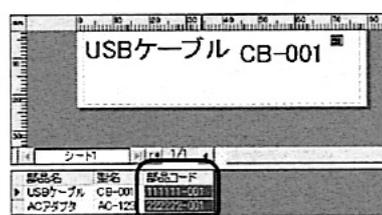
6. 用意したExcelファイルを選択し、「先頭行をフィールド名として使用する」にチェックが入っていることを確認して [開く] ボタンをクリックします。

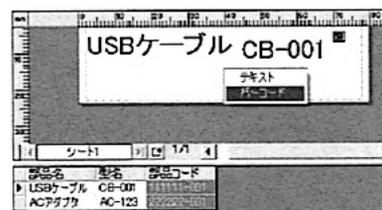
選択したファイルに複数のシートが含まれている場合は、[テーブルの選択] 画面が表示されるので、使用するシートを選択します。

→ レイアウト画面の下に選択したデータベースの内容が表示されます。

7. 「部品名」の列でクリックし、レイアウト画面にドラッグします。

→ ポップアップメニューが表示されます。

8. [テキスト] を選択します。

→ レイアウト画面に「部品名」の1行目のデータがレイアウトされます。

❾ 「型名」の列も同様にレイアウトします。

●複数の列を一度にレイアウトするときは、1列目をクリックし、shiftキーを押しながら次の列をクリックします。

❿ 「部品コード」の列でクリックし、レイアウト画面にドラッグします。

→ ポップアップメニューが表示されます。

⓫ [バーコード] を選択します。

→ レイアウト画面にバーコードがレイアウトされます。

⓬ レイアウトされたオブジェクトの配置やプロパティを設定します。

⓭ レイアウトが完成したら、 をクリックします。

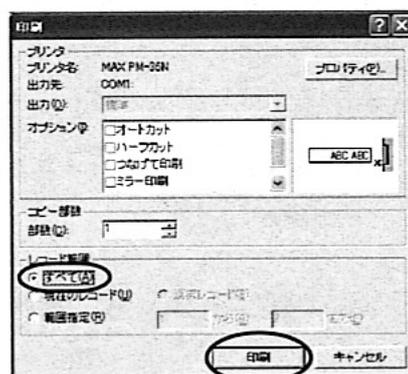
→ [印刷プロパティ] が表示されます。

⓮ [印刷プロパティ] の 印刷 をクリックします。

→ ラベルが印刷されます。

⓯ すべてのデータベースを同じレイアウトで印刷したい場合は、[印刷プロパティ] の ... をクリックします。

→ [印刷] 画面が表示されます。

⓰ 「レコード範囲」で「すべて」を選択し、[印刷] ボタンをクリックします。

→ Excel データの各行が、ラベルになって印刷されます。

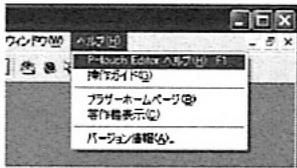
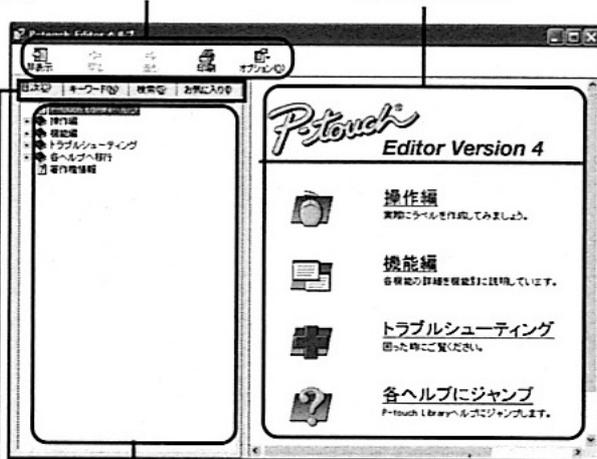
お知らせ

● 操作の詳細は、「ヘルプ」を参照してください。

ヘルプの使い方

P-touch Editorには、ソフトウェアの詳しい使い方を説明したヘルプが付いています。
ここではヘルプの使い方を説明します。

❶ P-touch Editor を起動します。

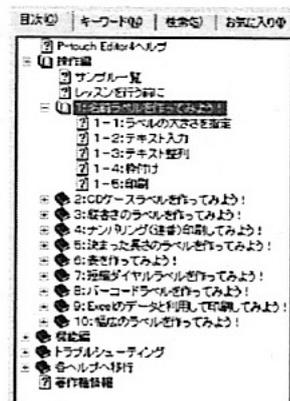
❷ メニューバーの［ヘルプ］－［P-touch Editor ヘルプ］を選択します。

→［P-touch Editor ヘルプ］が表示されます。

■ ヘルプを印刷するとき

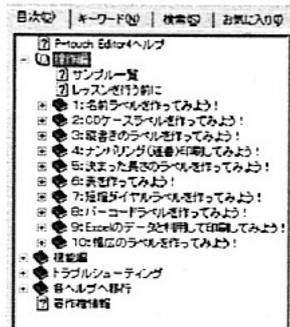
ヘルプの内容を印刷することができます。ヘルプは、通常のプリンタで印刷します。

① ［目次］タブを選択します。

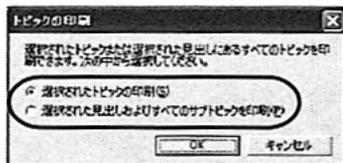
② 目次タブで印刷したいトピックを選択します。

□ **特定のトピックを印刷するとき**

目次タブで、印刷したい見出しをクリックします。見出しをクリックすると、その見出しに含まれる内容が表示されます。

□ **「操作編」の全文を印刷するとき**

目次タブで、「操作編」をクリックします。

③ 印刷 ボタンをクリックします。

→ [トピックの印刷] 画面が表示されます。

④ 印刷する内容を選択します。

□ **表示したトピックを印刷するとき**

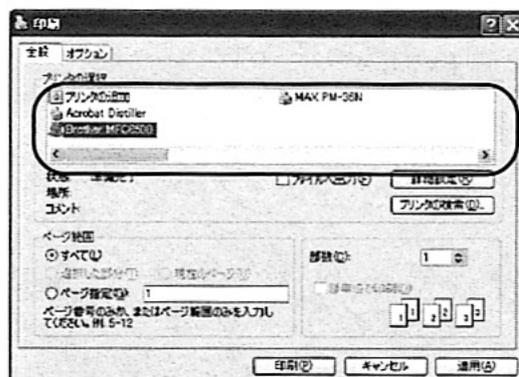
「選択されたトピックの印刷」を選択します。

□ **選択した見出しに含まれるトピックを印刷するとき**

「選択された見出しおよびすべてのサブトピックの印刷」を選択します。

⑤ [OK] ボタンをクリックします。

→ [印刷] 画面が表示されます。

⑥ 「プリンタの選択」で、印刷するプリンタを選択します。

● 本機で、ヘルプを印刷することはできません。A4 判以上の用紙サイズに対応している通常のプリンタを選択してください。

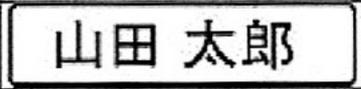
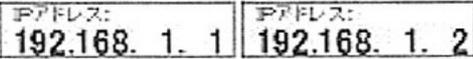
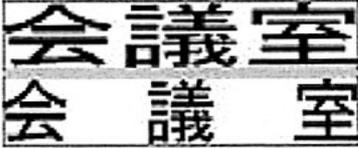
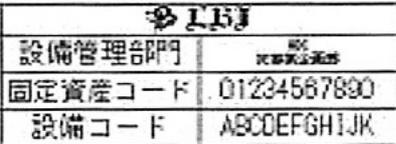
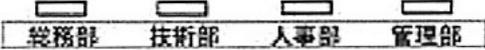
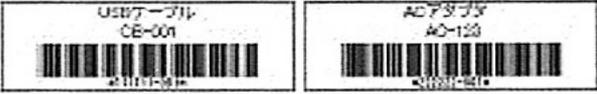
● OS やプリンタの種類によって、表示される画面は異なります。

⑦ [印刷] ボタンをクリックします。

→ 印刷が実行されます。

他の種類のラベルを作るには

「P-touch Editor ヘルプ」の操作編では、以下のいろいろなラベルを作成する例を紹介しています。

	例	紹介している機能
名前ラベルを作ってみよう	山田 太郎	・ラベルの大きさを指定 ・テキストラベルを中央に配置 ・テキストのまわりに枠付け
CDケースラベルを作ってみよう	Best Hit Songs Jan. – Aug.	・背景テーマの設定 ・クリップアートの挿入 ・シート機能で複数のラベルをまとめる
縦書きラベルを作ってみよう	12月24日	・縦書きラベルの作成 ・縦中横組み文字の設定
ナンバリング（連番）印刷してみよう	IPアドレス: 192.168. 1. 1 IPアドレス: 192.168. 1. 2	・テキストのナンバリングの設定、印刷
決まった長さのラベルを作ってみよう	会議室 会　議　室	・テキストの拡大、均等割付 ・文字の制御方法
表を作ってみよう	設備管理部門 固定資産コード 01234567890 設備コード ABCDEFGHIJK	・表の挿入 ・セルの結合 ・表内へのテキスト入力
短縮ダイヤルラベルを作ってみよう	総務部　技術部　人事部　管理部	・罫線なしの表 ・セルの幅設定
バーコードラベルを作ってみよう	*CODE39*	・規格の選択 ・サイズの変更
Excelのデータを利用して印刷してみよう	USBケーブル CB-001 ACアダプタ AC-123	・Excelファイルの接続 ・レイアウトへのマージ
幅広ラベルを作ってみよう		・幅広ラベルの設定 ・文字の反転

4 付録

ここでは、お手入れ方法や困ったときの対処方法などを紹介します。

バーコードラベルを作成するとき

本機で、商品管理やレジスターなどに利用できるバーコードラベルを、簡単に作成することができます。バーコードには様々な規格があるので、作成する規格、バーコードリーダーで読み取れる規格を確認してから作成してください。

バーコード対応一覧

本機で作成できるバーコードは、以下のとおりです。

規格	形式	文字	桁数
CODE39	一次元コード	0-9,a-z,$,/,%,+,-,.,スペース	1-250
I-2/5(ITF)	一次元コード	0-9	1-250
UPC-A	一次元コード	0-9	11+1(チェックディジット)
UPC-E	一次元コード	0-9	6+1(チェックディジット)
JAN13(EAN13)	一次元コード	0-9	12+1(チェックディジット)
JAN8(EAN8)	一次元コード	0-9	7+1(チェックディジット)
CODABAR(NW-7)	一次元コード	0-9,A-D,$,/,:,+,-,.	3-250
CODE128	一次元コード	全ASCII(128文字)制御コード(37種類)	1-250
EAN128	一次元コード	全ASCII(128文字)制御コード(37種類)	1-250
POSTNET	一次元コード	0-9	5,9,11*
Laser Bar Code	一次元コード	0-9	3,5,7,9,11,13,15**
ISBN-2	一次元コード	0-9	14+1(チェックディジット)

規格	形式	文字	桁数
ISBN-5	一次元コード	0-9	17+1(チェックディジット)
カスタマバーコード	一次元コード	0-9,-	7-99
PDF417	二次元コード(スタック型)	全文字	1-1850(数字のみ最大2710)
QRCODE	二次元コード(マトリックス型)	全文字	1-1817(数字のみ最大7089)
データマトリックス	二次元コード(マトリックス型)	全文字	1-777(数字のみ最大3116)

* POSTNETは、データ総和の1桁目が「0」になるように算出します。
** Laser Bar Codeは、データ総和の1桁目がチェックディジットとなります。

バーコード印刷の注意

バーコードを印刷するときは、以下の点に注意してください。

- 本機はバーコードラベル専用機ではありません。
  本機で作成したバーコードラベルは、使用するバーコードリーダーで読み取りができることを確認の上、使用してください。
- 万一、バーコードの誤読等による損害が発生しても、当社は一切責任を負いません。
- バーコードを印字する場合は、なるべく白ベース／黒インクのテープを使用してください。
  これ以外のテープでは、バーコードリーダーで読み取れないことがあります。
- バーコードの幅は、なるべく大きく設定してください。小さく設定した場合、 バーコードリーダーによっては読み取れないことがあります。
- バーコードが含まれたラベルを大量に連続して印刷すると、プリントヘッドが高温になり、正しく印刷できなくなることがあります。

Bepop miniの設定を変更するとき

本機の通信速度などの変更方法を説明します。

USBのIDモードを切り替える

複数台の本機を使用する場合に、本機を個別に認識させて使い分けるか、１台として認識させるかをUSBのIDモードで切り替えることができます。

□ **個別に認識させる場合**
IDモードを「1」に設定し、本機１台ごとにプリンタドライバをインストールします。
パソコンは、複数の本機をそれぞれ異なるプリンタとして認識します。

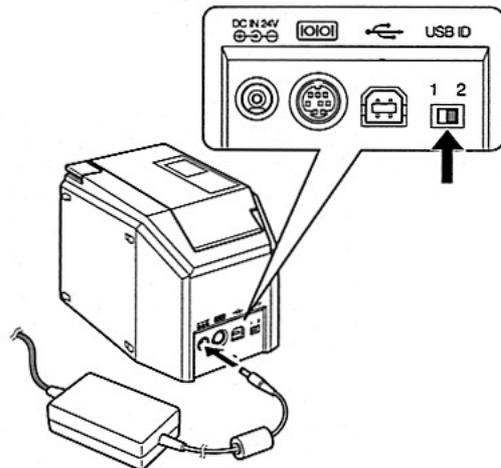
□ **１台として認識させる場合**
IDモードを「2」に設定します。１回のみプリンタドライバをインストールし、複数の本機は常に同じプリンタドライバを使用します。接続していた本機を異なるものと差し替えても、そのまま使用できます。

お願い

- 通常は、USB IDモードを「2」にしておきます。

1 本機とパソコンの電源を切ります。

2 本機とパソコンからUSBケーブルを外します。

3 本機背面のUSB ID切り替えスイッチを切り替えます。

4 本機とパソコンをUSBケーブルで接続します。

5 本機の電源を入れてから、パソコンの電源を入れます。

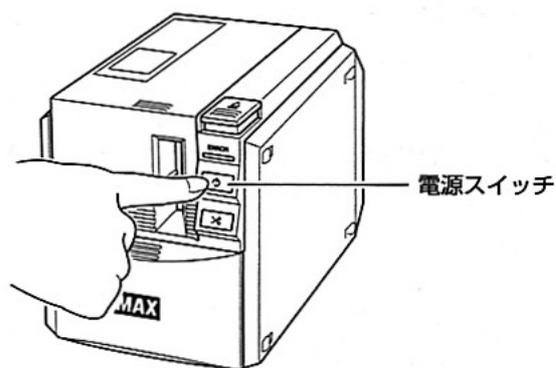
通信速度を変更する

本機のシリアルインターフェースの通信速度は、工場出荷時に115,200bpsに設定されています。
シリアルポートの通信速度が115,200bpsに対応していないパソコンの場合は、本機の通信速度を9,600bpsに変更します。

お願い

- **本機の通信速度を9,600bpsに設定したときは、パソコン側の通信速度も適切な値に変更してください。「パソコンとBepop miniの通信速度を設定する」（→P.38）を参照してください。**

1 **本機の電源を切ります。**

2 **電源が切れた状態で、電源スイッチを5秒以上押し続けます。**

→ ERROR表示ランプ（赤）と電源スイッチ（緑）が交互に点滅します。

3 **点滅を確認したら、電源スイッチから手を離します。**

→ 通信速度が9,600bpsに設定されます。

お手入れ

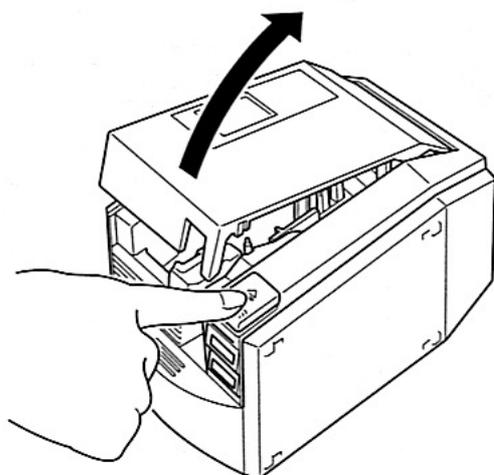
本機を使用していると、内部が少しづつ汚れていきます。お手入れの方法を説明します。

ラベルがきれいに印刷できないとき

印刷したラベルに横線が入っていたり、鮮明に印字されないときは、プリントヘッドやヘッドローラーが汚れている可能性があります。

■ セルフクリーニング

本機のセルフクリーニング機能を利用して、プリントヘッドの汚れを取り除くことができます。

① **カバーオープンボタンを押し、カバーを開きます。**

② **テープカセットを取り外します。**

③ **カバーを閉じます。**

④ **フィード&カットボタンを押します。**

→ セルフクリーニングが実行されます。

⑤ **カバーオープンボタンを押し、カバーを開きます。**

⑥ **取り外したテープカセットをセットし、カバーを閉じます。**

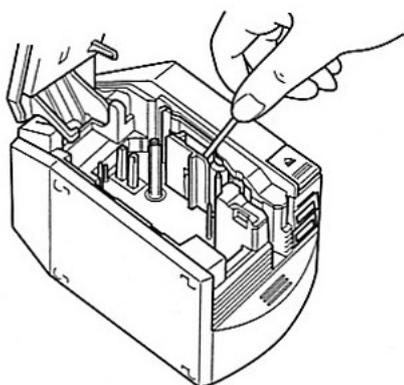
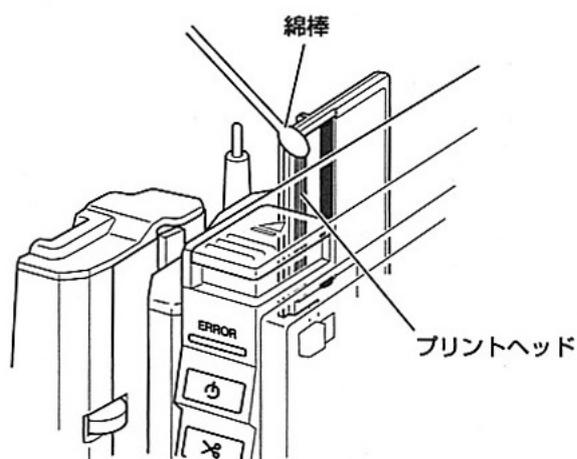
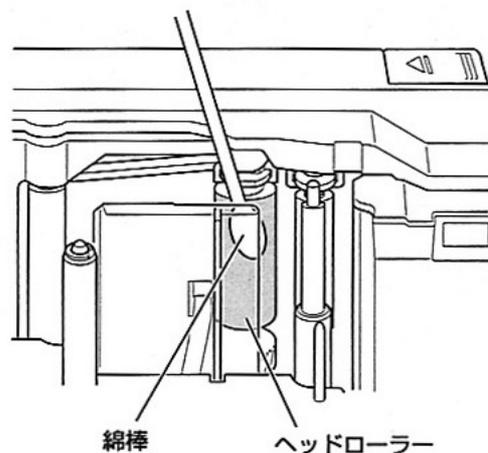
■ プリントヘッドとヘッドローラーのそうじ

セルフクリーニングできれいにならないときは、以下の方法でそうじします。

① 電源スイッチを押し、電源を切ります。

② カバーオープンボタンを押し、カバーを開きます。

③ テープカセットを取り外します。

④ 綿棒を使って、プリントヘッドとヘッドローラーをそうじします。

□ プリントヘッド

□ ヘッドローラー

⑤ 取り外したテープカセットをセットし、カバーを閉じます。

お願い

- 本機の内部には、ラベル加工用のカッター刃があります。そうじ中に手を触れないようにしてください。
- ラベルの印刷直後は、プリントヘッドが高温になります。印刷の直後はそうじをしないでください。

■ その他の方法

別売のクリーニングテープ（LM-C536 テープ幅36mm）を使用すると、簡単にそうじができます。

① カバーオープンボタンを押し、カバーを開きます。

② テープカセットを取り外し、クリーニングテープをセットします。

③ カバーを閉じます。

④ フィード&カットボタンを1～2回押します。

→ クリーニングが実行されます。

⑤ カバーオープンボタンを押し、カバーを開きます。

⑥ クリーニングテープを取り外し、取り外したテープカセットをセットしてカバーを閉じます。

お願い

● クリーニングテープの詳しい使い方は、クリーニングテープの取扱説明書を参照してください。

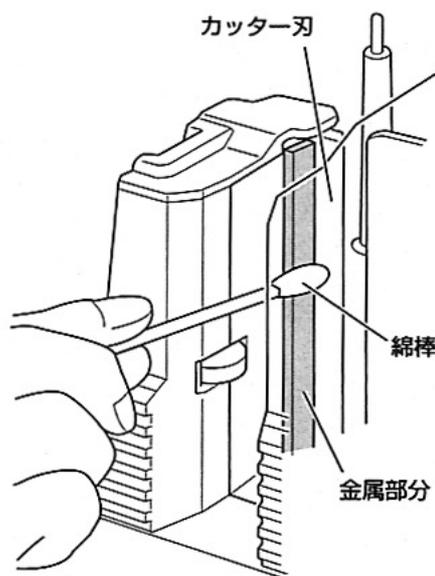
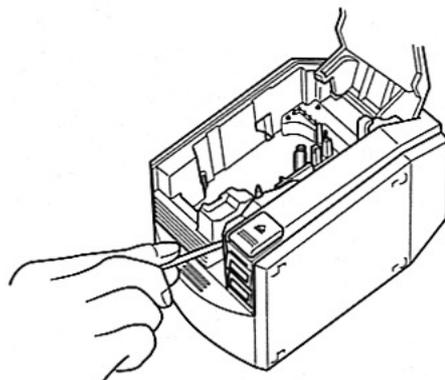
カッター刃のそうじ

印刷したときにラベルが正常に排出されないときは、テープ切断用のカッター刃をそうじします。

❶ 電源スイッチを押し、電源を切ります。

❷ カバーオープンボタンを押し、カバーを開きます。

❸ テープカセットを取り外します。

❹ 綿棒を使って、カッター刃をそうじします。

5 取り外したテープカセットをセットし、カバーを閉じます。

お願い

- そうじ中に、カッター刃に直接手を触れないようにしてください。
- ラベルの印刷直後は、プリントヘッドが高温になります。印刷の直後はそうじをしないでください。

困ったとき

本機を使用していて困ったときは、以下を参照してください。

Q&A

症状	原因	対処
印刷できない 書き込みエラーが表示される	接続ケーブルの接続がゆるんでいる	接続ケーブル、テープカセット、カバーなどを確認してください。
	テープカセットが正しくセットされていない	
	オープンカバーが開いている	
	シリアル接続時にUSBケーブルが接続されている	
縞模様のテープが出てきた	テープがなくなった	新しいテープカセットをセットし、フィード&カットボタンを押すか、本機の電源を入れ直してください。
LEDランプが点灯しない	電源ケーブルがしっかりと接続されていない	電源ケーブルを確認してください。改善されない場合は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターに連絡してください。
印刷したテープに線が入ってしまう	プリンタヘッドかヘッドローラーが汚れている	「ラベルがきれいに印刷できないとき」（→P.62）を参照し、そうじしてください。
パソコンに通信エラーが表示される	出力先のポートが正しくない	Windows®の［プリンタのプロパティ］で「印刷先のポート」を変更します。 USB接続のときは、「PM36USB:」（Windows® 98/98 SE/Me）、または「USB00n:」（Windows® 2000 Pro/XP）を選択します。 シリアル接続のときは「COMn:」（パソコンのCOM1に接続しているときは「COM1:」、COM2に接続しているときは 「COM2:」)を選択します。
	パソコンと本機の通信速度が合っていない	「パソコンとBepop miniの通信速度を設定する」（→P.38）を参照して、通信速度を変更してください。

症状	原因	対処
ボーレート変更ウィザード、またはMAX PM-36Nユーティリティでボーレートが設定できない	「エラー99」 パソコンが本機を認識できない	本機の電源は入っていますか？
		インターフェースケーブルは正しく接続されていますか？
		ボーレート変更ウィザードで選択したCOMポートとケーブルを接続しているCOMポートは合っていますか？ （パソコンによってはCOMポートを1つしか搭載していないのに、COM2になっているものがあります。）
		シリアル接続なのにUSBケーブルが接続されていませんか？
	「エラー1」「エラー5」 パソコン側のシリアルポートが使用できない状態になっている	Windows® NT 4.0/2000 Pro/XPで、他のシリアル接続機器が同じCOMポートを使用している場合は、印刷ができません。シリアル接続機器のポートを変更するか、使用していないCOMポートに本機を接続してください。
		パソコンによっては、出荷状態でCOMポートが無効に設定されているものがあります。パソコンの取扱説明書を参照するか、パソコンメーカーに問い合わせて、COMポートを有効にしてください。 ＜COMポートの確認方法＞ （Windows® 95/98の場合） ［コントロールパネル］－［システム］を選択します。 ［デバイスマネージャー］を選択し、ポート（COM&LPT）を開きます。 ・通信ポート（COM1）、通信ポート（COM2）があるか？ ・エラーマークが表示されていないか？
	パソコンが本機の通信速度の初期値115,200bpsをサポートしていない	NEC98系のパソコンでは、本機の通信速度の初期値115,200bpsをサポートしていないことがあります。 「通信速度を変更する」（→P.61）を参照して、通信速度を変更した後、「パソコンとBepop miniの通信速度を設定する」（→P.38）を参照して、通信速度を57,600bpsまたは9,600bpsに設定してください。
テープカット後に、テープが正常に排出されない	カッター刃が汚れている	「カッター刃のそうじ」（→P.64）を参照して、そうじしてください。

主な仕様

Bepop mini PM-36N本体

項目	仕様	
表示	LEDランプ（緑／赤）	
印刷	印字方式	熱転写ラミネート方式／感熱方式
	印字ヘッド	360dpi／384dot
	印字解像度	360dpi
	印字スピード	最大20mm/秒
	最大印刷幅	27.1mm
スイッチ	電源スイッチ フィード&カットスイッチ	
インターフェイス	シリアル（RS-232C） USB（Ver1.1準拠）	
電源	AC100V　50/60Hz（ACアダプタ）	
消費電力	約30W（印刷時）	
寸法	116（W）×189.6（D）×127（H）mm	
重量	約1.3kg	
カッター	フルカッター／ハーフカッター	

動作環境

項目		仕様
OS	シリアル接続	Windows® 95*1/98/98 SE/Me/NT 4.0*1 /2000 Pro*2/XP（プレインストールされたもの）シリアル（RS-232C）ポート標準装備
	USB接続	Windows® 98/98 SE/Me/2000 Pro/XP（プレインストールされたもの）USBポート標準装備
インターフェイス		シリアルポート 、 USBポート（USB1.1対応）
ハードディスク		70MB以上の空き容量*3
メモリ		64MB以上搭載
モニタ		SVGA、HighColor以上のグラフィックカード
その他		CD-ROMドライブ

*1 インストーラを動作させるには、Microsoft® Internet Explorer Ver. 3.02以上が必要
Windows NT® 4.0は、サービスパック6以上、Internet Explorer Ver. 5.5以上が必要

*2 Windows® 2000は、Windows® 2000 Professionalのみ対応（Server版は非対応）

*3 ソフトウェアの全オプションをインストールしたときに必要な空き容量

索引

ス

セ

ソ

ツ

テ

ト

ナ

ハ

ヒ

フ

ヘ

ホ

マ

モ

ラ

レ

●修理サービスおよび不明の点はお買い上げの販売店もしくは下記へお問い合わせください。

本社・営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6－6	TEL(03)3669-8108㈹
札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6－12－8	TEL(011)261-7141㈹
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2－1－29	TEL(022)236-4121㈹
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6－6	TEL(03)3669-8141㈹
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市東区徳川1－11－23	TEL(052)935-8531㈹
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1－3－18	TEL(06)6444-2031㈹
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7－11－24	TEL(082)291-6331㈹
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1－5－1	TEL(092)411-5416㈹
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2－10－3	TEL(019)621-3541㈹
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町3－24	TEL(099)269-5347㈹
新潟マックス㈱	〒955-0081	三条市東裏館2－14－28	TEL(0256)34-2112㈹
群馬マックス㈱	〒371-0844	前橋市古市町233－5	TEL(027)210-7755㈹
埼玉マックス㈱	〒331-0823	さいたま市北区日進町3－421	TEL(048)651-5341㈹
千葉マックス㈱	〒284-0001	四街道市大日1870－1	TEL(043)422-7400㈹
横浜マックス㈱	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘7－6	TEL(045)364-5661㈹
長野マックス㈱	〒399-0033	松本市笹賀8155	TEL(0263)26-4377㈹
静岡マックス㈱	〒422-8036	静岡市敷地1－3－26	TEL(054)237-6116㈹
金沢マックス㈱	〒921-8061	金沢市森戸2－15	TEL(076)240-1871㈹
京滋マックス㈱	〒612-8414	京都市伏見区竹田段ノ川原町9	TEL(075)645-5061㈹
兵庫マックス㈱	〒652-0832	神戸市兵庫区鍛冶屋町2－1－2	TEL(078)652-7370㈹
岡山マックス㈱	〒700-0971	岡山市野田3－23－28	TEL(086)246-9516㈹
四国マックス㈱	〒761-8056	高松市上天神町761－3	TEL(087)866-5599㈹
徳島営業所	〒770-0866	徳島市末広1－4－25	TEL(088)623-0286㈹
松山営業所	〒790-0951	松山市天山2－1－35	TEL(089)913-0608㈹
マックスサービス㈱札幌	〒060-0041	札幌市中央区大通東6－12－8	TEL(011)231-6487㈹
マックスサービス㈱仙台	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2－1－29	TEL(022)237-0778㈹
マックスサービス㈱高崎	〒370-0031	高崎市上大類町412	TEL(027)350-7820㈹
マックスサービス㈱埼玉	〒331-0823	さいたま市北区日進町3－421	TEL(048)667-6448㈹
マックスサービス㈱名古屋	〒461-0025	名古屋市東区徳川1－11－23	TEL(052)935-8210㈹
マックスサービス㈱大阪	〒553-0004	大阪市福島区玉川1－3－18	TEL(06)6446-0815㈹
マックスサービス㈱広島	〒733-0035	広島市西区南観音7－11－24	TEL(082)291-5670㈹
マックスサービス㈱福岡	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1－5－1	TEL(092)451-6430㈹

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

ホームページアドレス：http://www.bepop-net.com/

LN3128001

2003.12 Vol.1